



報 會 窓 同 工 會

2020



校 歌

嶺は香づる磐梯山
水は湛ふる猪苗代
これぞ乾坤香霊の
精氣鍾り成る處

明治三十七春なかば

礎堅くきづかれて

星霜ここに幾かへり

平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け

鶴を徽章に雄雄しくも

至誠勤勞一すぢに

進む健児の意氣高し

峙つ嶺は嶮しくも

寄せくる波は高くとも

これ奮闘の活舞臺

これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬
作曲 新潟師範学校

事業報告

第113回（2020）同窓会総会中止、書面決裁を実施

第113回会工同窓会総会（令和2年10月17日開催予定）につきましては、コロナウイルス感染症の拡大により大人数での開催は不可能と判断し、また会員の皆様の健康と安全第一を考慮し中止としました。総会に変わり本部役員および支部代表者の皆様に総会資料を送付し書面決裁としました。

送付総会資料

- 議題 (1) 令和2年度事業報告……………全員賛成
 (2) 令和2年度会計決算報告、会計監査報告……………全員賛成
 (3) 令和3年度事業計画（案）……………全員賛成
 (4) 令和3年度予算（案）……………全員賛成
 (5) 同窓会規約の一部改正について……………全員賛成

決裁の結果は全議題可決承認されました。ありがとうございました。

皆様方のご健康とご多幸、新型コロナウイルス感染症の終息を心よりお祈り申し上げます。

幹事長 木村 洋一（昭50K）

第113回 同窓会総会資料

議題

- (1) 令和2年度事業報告（令和元年10月1日～令和2年9月30日）

会員相互の親睦を図り、母校と会発展のため以下の事業を実施した。

月 日	事 業	場 所
10月 4日（金）	会計監査	鶴翔会館
10月 8日（火）	第3回役員会 懇親会	鶴翔会館 鳥益
10月18日（金）	会工電友会総会	ホテルニューパレス
10月19日（土）	第67回 若松会工会総会	ホテルいづみや
10月19日（土）	第112回 同窓会総会	ホテルいづみや
11月 1日（水）	2019會工同窓会報発行	
11月15日（金）	猪苗代会工会総会	リステル猪苗代
11月30日（土）	福島会工会総会	ユートピアビル「おりおり」
12月14日（土）	第7回いわき会工会総会	いわき市ラトブ3Fたむら
1月31日（金）	第1回役員会 新年会	鶴翔会館 上酒林
2月28日（金）	同窓会入会式 表彰式	学校南体育館
2月29日（土）	会津美里会工会総会	宮廻
3月 1日（日）	会工卒業式	学校南体育館

*郡山会工会、東京会工会、東海会工会、近畿会工会、坂下会工会、建友会、機友会、セラ友会の総会
 は中止となりました。

*表記の他 会報編集委員会5回、三役会議8回開催



『同窓会報発刊にあたって』

同窓会 会長 藤田 晴史
 （昭40年電気科卒）

同窓会会員の皆様、御健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。今年も全国的な猛暑に加え、台風や豪雨で、健康を害されたり、被害に遭われたりしていませんでしたか。

加えて、新型コロナウイルスによる感染症が、全世界で三千万人を超え日本国内でも八万人に近づく、蔓延している状況にあります。

会津若松市でも八月十九日に初めて感染者が出て以降、連日のように増え続け九月二十三日現在十九人となりました。

この間、市内の中核病院でクラスターが発生、喜多方市等他地域へ広がりが見られます。

皆様の地域はどうでしょうか。「マスクの着用」や「不要不急の外出自粛」や三密を避けるなど不自由な生活を余儀なくされ、今も「新しい生活様式」の順守があり、まだまだ不安は払拭されていません。

この様な状況の中で、十月に予定されている大人数での同窓会総会出席者の安全と健康を考慮し、残念ですが中止とさせていただきます。

総会に変わり、各支部会長と本部役員による書面採決とさせていただきます。後日議案書を作成し送付致しますので、よろしくお願ひ申し上げます。

各地区と各修養会の総会も全て中止との連絡を受けており同窓会活動の停滞が心配されますが、各自が注意を怠らず自覚しての

生活で、国難とも言える状況を克服し、一日も早く感染症を終息させ、普段の生活に戻り、皆様と笑顔でお会いできるようお願いいたします。

本年母校に遠藤昭二様（昭和五十五年機械科卒）より古くなった校旗を新たに西陣織で製作し二月に御寄贈いただきました。さらに六月には各部活の遠征に活用するマイクロボス二台も御寄贈下さいました。校旗は学校のシンボルであり、又マイクロボスは各部活動の大きな支援となり、生徒達にとっては意欲と向上心を高める動機となるものです。遠藤様の深い母校愛に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

二年後。令和四年四月に会津工業高等学校創立百二十周年を迎えます。学校とPTA、同窓会が一体となり八月末に準備委員会を開き日程や各行事・事業の検討を行う実行委員会設立を確認致しました。内容については各種機会を通じてお知らせ致します。

コロナ禍の中で不安と不透明な点はありますが、会員の皆様方の御支援、御協力をいただき成功裡に実施できますよう努力してまいります。

十月からは、全国的規模でGOTOキャンペーン、GOTOイートのキャンペーンが開始されます。感染症には充分注意をして下さい。

結びに会員の皆様の御健勝と御多幸・御活躍を祈念して挨拶とさせていただきます。

(4) 令和3年度

福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出予算書(案)

(自 令和2年10月1日～至 令和3年9月30日)

収入総額 6,262,480円
支出総額 6,262,480円
差引残額 0円

◎収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 費目, 予算額(A), 前年度予算額(B), (A)-(B)増減, 摘要. Rows include 繰越金, 入会金, 協力金, 総会費, 雑収入, and 合計.

◎支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 費目, 予算額(A), 前年度予算額(B), (A)-(B)増減, 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 旅費, 事業費, 協力金諸経費, 卒業記念費, 体育文化振興会助成, 慶弔費, 消耗品費, 印刷費, 通信費, 事務費, 基金・積立, 予備費, and 合計.

付帯決議 科目間の流用については会長に一任する。

各支部への助成

- 東京-10万・近畿-5万・東海-5万・若松-5万・福島-3万・日立-2万・郡山-3万
猪苗代-3万・坂下-3万・いわき-3万・湯川-3万・会津美里-3万
建友会-2万・会工電友会-2万・機友会-2万・セラ友会-2万

(2) 令和2年度

福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出決算書

(自 令和元年10月1日～至 令和2年9月30日)

収入総額 5,733,879円
支出総額 3,879,699円
差引残額 1,854,180円

◎収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 費目, 予算額(A), 決算額(B), (B)-(A)増減, 摘要. Rows include 繰越金, 入会金, 協力金等, 総会費, 定期解約・雑収入, and 合計.

◎支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 費目, 予算額(A), 決算額(B), (B)-(A)増減, 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 旅費, 事業費, 協力金諸経費, 卒業記念費, 体育文化振興会助成, 慶弔費, 消耗品費, 印刷費, 通信費, 事務費, 基金・積立, 予備費, and 合計.

※協力金の精算内訳(株サルトより)

- ・協力金入金額 1,461,000円(698口) - 振込手数料125,868円 = 1,335,132円...①
・会報発行作業経費 830,000円...②
・事務手数料 50,513円...③ ① - (② + ③) = 454,619円
・協力金諸経費 125,868(振込手数料) + ② + ③ = 1,006,381円

その他

協力金 6,000円(2,000円×3口)
454,619円+6,000円=460,619円

○収入総額 5,733,879円 - 支出総額 3,879,699円 = 差引残額 1,854,180円は次年度に繰り越し致します。



会工の現状

校長 高梨 哲夫

同窓会会員の皆様には、日頃より母校の教育活動に御協力と御支援を賜りまして心より感謝申し上げます。また、二月二十八日の同窓会入会式におきまして、一三三名の新たな同窓生を温かくお迎えいただきありがとうございます。令和二年度は、新入生二三九名を迎え全校生徒は七〇六名(男子五七五名、女子一三一名)、全教職員八十九名の合計七九五名で教育活動が始まりました。校長として着任二年目を迎え、本校が地域の方から大変期待されている学校であると益々実感しております。今後も、社会に貢献できる生徒の育成に努めていきたいと考えております。

今年の二月頃から新型コロナウイルス感染症に伴い、さまざまな教育活動に制限がある中で、卒業式並びに入学式を無事に終えることができました。年度当初は臨時休校や分散登校など、県の方針が目まぐるしく変化する中、六月から教育活動が再開されました。現在は「新しい生活様式」を取り入れた教育活動が再開されたところです。ただ、残念なことは、運動部の全国大会が相次いで中止が発表されて、それに関連する東北大会・県大会が中止される事態となりました。三年生にとって最後の活躍の場が失われたこととなり、悔しい思いをした生徒が多数いました。また、二年生でも予定しておりました、インターシップや修学旅行も中止せざるを得ない結果となりました。

今年は、昭和五十五年三月に本校を卒業しました、遠藤昭二様から二件の寄贈がありました。遠藤様は、私と同じ猪苗代町出身でもあり、機械科の同級生でもあります。現在株式会社ISホールディングの代表取締役社長で、国内外で活躍されている実業家でもあります。

まず、一件目は「校旗」です。本校の校旗は、昭和三十三年から六十年以上大切に使用してきましたが、色あせや金糸がほつれるなど老朽化が目立ち始めてきました。その状況を遠藤様に相談したところ、新調してく

ださることになりました。新しい校旗は、高校野球の深紅の大優勝旗などを制作している京都の平岡旗製造株式会社にお願いました。生地・刺繍・染め・房・金具・竿など、京都の伝統工芸士が手作業で最高の技を結集して最高の校旗を作ってくださいました。二月二十七日に本校南体育館で同窓会の役員の方をはじめご来賓に出席していただき、贈呈式が行われました(写真右)。

二件目は、「マイクロバス」です。同じ機械科の同級生でもある渡部優生県議から遠藤様に、バスの老朽化が激しいため部活動の遠征や大会参加などに支障が出ていると話がありました。これを受け遠藤様より生徒のために広く活用して欲しいということで、マイクロバスの新車を二台寄贈していただきました。六月十七日に、本校ロタリー前で同窓会の役員の方をはじめご来賓に出席していただき、贈呈式が行われました(写真左)。二件合わせて二千万円を超える寄贈をしていただき、誠にありがとうございます。生徒、教職員、保護者を代表して御礼申し上げます。大切に使用してまいります。

平成三十年に発表された、県立高等学校改革前期実施計画で、本校は五クラスになることに決定してまいりました。これを受け、令和三年度の入学生より、電気科と情報技術科を廃止し、電気情報科を新設します。この電気情報科は、「SDGs」のものづくり産業に関する、電気・情報分野での技術を身につけた人材の育成を目標とします。一年次は共通履修し、二・三年次から専門性の高い「電気エネルギー」と「情報テクノロジー」に分かれ履修します。「電気エネルギー」コースは、発送配電、電気設備・機器に関する知識・技術を学びます。「情報テクノロジー」コースは、ICT、IoTを活用した情報通信技術に関する知識・技術を学びます。目標とする資格検定試験としては、一年次は共通履修として全員が「第2種電気工事士」情報技術検定試験3級」を目指します。二・三年次の電気エネルギーコースは「第1種電気工事士」や「第3種電気主任技術者試験」に挑戦します。また、情報テクノロジーコースは「ITパスポート」や「基本情報技術者試験」「応用情報技術者試験」にも挑戦します。

最後になりますが、本校の学校運営ビジョンは「社会に貢献できる人間の育成」をスローガンに、教職員一丸となって取り組んでまいりますので、同窓会の皆様の御支援に感謝を申し上げ、今後もさらなる御協力をお願い申し上げます。



マイクロバス贈呈式 (R2.6.17) とマイクロバス

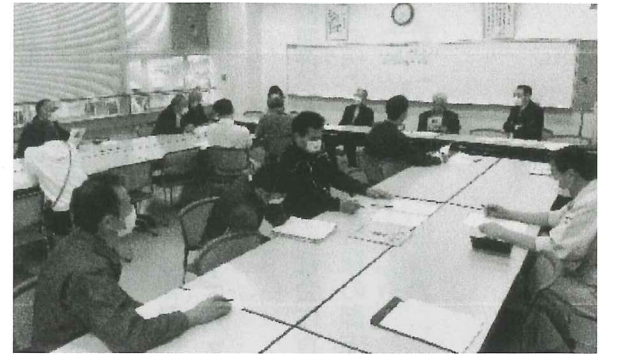


新学校旗受け渡し



令和4年(2022年) 福島県立会津工業高等学校 創立120周年

ホームページも御覧ください
URL: <https://aizu-th.fcs.ed.jp/ceremony120>



令和2年10月7日(木) 第1回実行委員会

- ・福島県立会津工業高等学校 記念行事
令和4年(2022年)10月15日(土) 10:00~
○120周年記念式典 本校南体育館
○記念講話
○記念祝賀会
- ・記念出版
○創立120周年記念誌『会工賛歌』
- ・その他の記念事業 各種検討
※会津工業高校同窓会 同窓会総会を同日開催

◎今後、記念事業の内容によっては、寄付金のお願いが発生する場合があります。その折りには、何卒よろしくご支援をお願い申し上げます。

〈お知らせください〉 総務部より

- 100歳以上の同窓生(1922年(大正11年)以前生れ)
- 4世代卒業生(在校生を含む)のご家族
教えてください

〈ご依頼〉 出版部より

同窓生および各方面の方々へ
記念誌へ掲載の寄稿文のご依頼に快くお引き受けくださいますようお願い申し上げます。

実行委員長挨拶

謹啓 皆様には益々ご清祥にご活躍のこととお慶び申し上げます。
平素より、同窓会活動ならびに母校の教育活動にお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、本校は明治35年9月「日本の伝統産業を支える技術者の育成」のため染色・漆工・窯業の従事者教育の場として福島県立工業学校として設立認可を受け、明治37年4月に開校式が行われました。その後昭和4年4月文部科学省告示第372号により校名が福島県立会津工業学校となり、更に昭和23年4月学制改革により福島県立会津工業高等学校となつて、令和4年(2022年)には創立120周年を迎えます。
この10月に記念事業実行委員会が母校に設置されました。同窓会を代表して実行委員長をお引き受けたいました。120年の伝統の節目を同窓会会員の皆様とともに祝い迎えたいと決意しております。会員の皆様の物心両面のご支援・ご協力を頂きながら、記念事業を推進してまいります。
何卒よろしく御願ひ申し上げます。会員皆様の御健勝・御多幸とご活躍を祈念してご挨拶とさせていただきます。
謹白

創立120周年記念事業 実行委員長
会津工業高等学校 同窓会会長
藤田晴史(S40E)

支部会

東京会工会 東京会工会の現状

会長 田中 健一
(昭42E卒)

明治44年9月10日、卒業生12名が神田とくわで「東京福工会」として産声を上げ、昭和16年11月に「東京会工会」と改称。
平成23年には設立100周年を迎えることが出来ました。残念な事に「東日本大震災」が発生した年です。令和3年には、設立110周年節目の年となります。しかし、今年1月末頃から「新型コロナウイルス感染症」が徐々に世界中に拡散し、



これまでと同じ日常生活が不可能になってしまいました。東京会工会の令和2年度活動も全て中止となってしまいました。令和3年の活動計画を策定するにも、新型コロナウイルス感染症が早く終息してくれない事には動きがとれない状態です。

それでは東京会工会の活動について、ご紹介いたします。5月囲碁将棋大会、6月総会、9月梨狩り、芋煮とぶどう狩り&BBQ、10月西地区ゴルフコンペ、3月東地区ゴルフコンペを開催しています。従来は総会、芋煮、東地区ゴルフだけだったのですが、平成15年頃前荒井会長の提案で、一人でも多くの会員が参加出来るようにと催しを増やしました。

人気のあった茅ヶ崎海岸での地引き網は、網元の高齢化による廃業で、平成28年中止になってしまいました。

会員について紹介します。東京会工会の登録会員は256名。10年前は487名。減少の要因は会員の高齢化が進み、退会や物故者が多くなっているのに、新規加入者が少ないため。関東圏在住の同窓生は、4624名程把握していたのですが、物故

者666名、退会者262名、不明1400名、残りの1700名程が案内を送付しても返信のない方です。

平成卒業の同窓生の居所は殆ど把握出来ていません。同窓会名簿では、勤務先が東京の様だけ住所は会津と言うのもあります。これからは平成の卒業生取込が地域同窓会の活性化に繋がるのかと考えています。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、これまでの日常生活に戻り同窓会活動が活発になることを願っています。

東海会工会 新型コロナウイルスと東海会工会

佐藤 勝美
(昭56M卒)

今年は新型コロナウイルスの影響で学校、会社関係の各種イベントが中止になっている。当然、東海会工会メイン行事でもある総会も中止、更には事前の役員会や愛知県三河地方の歌舞伎町と呼ばれる(自称?)刈谷駅周辺で母校の校長先生、同窓会長、幹事長をお招きしての

懇親会も中止となった。
会津を離れ遠く三河地方に住み着き、母校を通じて知り合えた諸先輩方との会津弁で語らい、酒を酌み交わし故郷の匂いや想いを感じる事ができただけに非常に残念でした。
5月に非常事態宣言も解除され、5月22日(金)三井会長の号令の下!岐阜県で東海会工会ゴルフコンペが開催されました!

晴天にも恵まれて、ご高齢にも関わらず豪快なスイングの鈴木顧問、シャフトが自然薯のように粘りがある山内副会長、ゴルフ勉強家の五十嵐幹事長、ボールが曲がる度に会津弁イント



近畿会工会 新型コロナウイルス雑感

会長 石川 善一
(昭39E卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々のご健勝とお慶び申し上げます。今年の2月、中国武漢より発生した新型コロナウイルスの驚異的な感染力で世界の感染者は2千万超、死者50万超

鶴雲飛翔

質実剛健

の大パンデミックとなっている。日本も5万人超の感染者、死者1千人超となりましたが、感染者の割りに死者が少ないと世界の不思議となっている。只、日本人には、何かXファクターがあるのではと話題になっている。民族的に清潔、手洗い、マスク、他人に対する敬意と種々原因があるかも知れない。巷に聞く所によると故里会津は感染者0という事。立派な事だと思ふ。大阪は5千人超となっている。又不要不急の外出は自重している。仕事には行っているが種々気をつけるのは大変である。このままでは世界の経済、秩序は大いに乱れ世界恐慌になりそう。米中は戦争？寸前状態みたいになっている。新型コロナウイルスのワクチン開発が早期に成功し、下々まで接種できるように祈るしかない。特に日本製に期待したい。

さて、今年ほろくな事のない年だと言われていたがその通りになって来ている。大雨による大水害被害(九州・山形)、新型コロナウイルス、大熱波による熱中症、これからのスーパー台風と気の抜く暇が無さそう。国民の楽しみの大イベント、東京オリンピックの延期、各プロ競技の中止・延期と又、我らの恒例行事、ゴルフコンペ、同窓

若松会工委会 令和2年度の活動を振り返って！

会長 浅田 誠 (昭43E卒)

本会の今年度の活動を振り返ってみると、例年から課題になっている役員体制の不足に加えて、全組織共通に悪影響を及ぼした、年初めから発生し、今尚引き続き苦しめられている「コロナウイルス禍」は、全同窓会活動を大きく停滞させている事を、

本記録に書き留めておきたい。こんなにもでも阻害要因となる事を誰が予測できたであろうか。恨み言も言いたくなる心境である。とは言いながらも年間活動報告はしっかりと記録に示し、皆さんへ報告すべきと考え、年間活動を振り返ってみます。

第一には昨年中に田勢幹事長が中心になり登録会員78名全員に本会の年次会報を送付した事は時宜を得た取り組みであると同時に、しかるべく今後の活動への活性化の種を蒔き続ける行動の一端であったと考える。

第二には、幹事会を今後開催予定の1回に加えて5回開催し、本会の結束力と納得性のある活動の一助にも成り得たのではないかと考えると共に、情報の共有化にも貢献できたのではないかと、自負している。

第三には、少し不謹慎であったかも知れませんが、「コロナウイルス感染、悪疫(アクエキ)退散祈願の集い」を開催し、地域経済活性化への協力と「コロナウイルス、何するものぞ!」との思いで悪霊払いを目的に、6月19日(金)に役員懇親会を開催しましたが、祈願不足だったのか、目的を達せられず、じ

くじたる思いで今、回顧しているところです。

このような異常環境下での取り組みを踏まえつつも、本会は昭和28年に発足し、現在68年目の活動に入り、還暦を越えた歴代の諸先輩の考え、行動に恥じない取り組みが求められる事を強く再認識し、今後の活動に積極・果敢に挑戦して行かねば、心身を引き締められているところであります。

結びに、今後とも引き続き皆様方からのご指導・ご鞭撻、ご協力を頂戴できますようお願い致します。本年の活動報告とさせていただきます。

坂下会工委会 事業報告

会長 梨子本 傑 (昭41K卒)

●定期総会開催2020
令和2年8月31日開催予定の第42回の定期総会2020は、開催に向けて準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染状況並びに感染拡大防止対策を鑑み、開催を中止するこ



高梨校長・本会役員と13名の新入生母校・校長室にて

とを6月末の役員会にて決定・了承されました。よって、8月上旬に役員会にて昨年度の事業・会計報告、今年度の事業などを確認了承されました。

本会は昨年まで41回開催してきましたが、中止とされたのは今回初めての事で、年一回の同窓生が会し懇親を深める大切な場であったので誠に残念です。

●会津工高入学生に記念品贈呈
今春に坂下中から同校へ入学した生徒13人に記念品として名入りボールペン・校章入りの手作りハンカチ・記念会報を贈った。会設立42年の記念事業の一環。会長より一人ひとりに手渡した。生徒代表として安部侑希君が謝辞を述べた。学校より高梨

REPORT & MESSAGE

哲夫校長・中丸同窓会事務局長立会いのもと、生江光男副会長、武藤寛幹事長、飯塚裕事務局長が同席した。

●会津坂下町 高校OB対抗親善ゴルフ大会
今年度の開催は、7月11日に会津磐梯カントリークラブで開催。本会から7名参加し親睦を深めた。新型コロナウイルス感染防止のため、表彰式、懇親会等は行われなかった。

●研修会
年に2回ミニ研修会を開催①ザル菊を通して盛り上げている地域の見学会
②陶芸家・板谷まると会津坂下町とのかわり
③会津坂下町発掘資料展示見学
●役員会
役員会は4回開催。総会後の報告、新年会、総会対応に向けての2回開催。4月の観桜会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

猪苗代会工委会 会員の出席増が課題

会長 江花 俊和 (昭37T卒)

昨年の活動は例年通りで、本校同窓会役員会、同新年会、同

総会へ出席しました。総会で山口一男前会長に感謝状が贈呈されました。

猪苗代町で開催された県高校駅伝大会の選手の宿舎訪ねて選手を激励し、大会当日も応援しました。

総会は11月15日(金)、会員18名、ご来賓に藤田晴史会長、木村洋一幹事長、高梨哲夫校長をお迎えし、リステル猪苗代で開催しました。高梨校長が当町ご出身であり、また久々に2名の入会があった盛り上がりがありました。

会員は現在80余名ですが、課題は総会出席者15〜20名を増やすことを検討し、楽しく懇親できる場を実現することだと思っております。

まだ収束しない新型コロナウイルスが就職に影響しないことを祈るばかりです。
終わりに、「KAIKO」でIT研究部が全国マイクロボコン高校生大会で第3位を見て拍手しました。

湯川会工委会 私達で再会します

副会長 佐野 常雄 (昭31E卒)

休会中の湯川会工委会の「あゆみ」は、会報紙18号でお知らせいたしました。昨年の19号では、国宝勝常寺の「薬師に護られて再会します」のお約束でありましたので申し上げます。

私たち(S31E佐野常雄・S30E星行雄・S49M小林竜二)3名で、本年3月に本部から頂いた名簿から湯川村在住者68名の方々に別紙「湯川会工委会への入会お願い」を呼びかけ、「2年後母校創立120周年の母校を愛し、郷土の同窓生で愛し合い、楽しく集いましょう!」



左から小林・佐野・星

会津美里会工委会 『同窓会について』

栗木 俊昭 (昭45D卒)

令和2年度総会を2月29日に開催いたしました。

本部より藤田会長・木村筆頭幹事長、学校より高梨校長先生を来賓を迎え会員相互の親睦を図りました。

席上、高梨校長先生より校長先生の同級生であった同窓生より校旗の寄進があったことが報

告され、一同感銘したところである。

更に、後の報道にて学校にマイクロボスを寄贈されたことを知り感謝の気持ちで一杯です。更なるご活躍をお祈りいたします。

今年度の事業は総会後に全世界を震撼させている新型コロナウイルスの影響による行動自粛により中止せざるを得ない状態になりました。

さて、今後の同窓会活動にも大きな影響を与えることが予測されます。例えば本部更には各支部等における総会等への参加者の減少及び高齢化更には本部財務会計について卒業生が500名超の時代もありましたが現在は半分以下の240名位です。すなわち入会金収入が半分以下になつては従来通りの事業を行うことは困難と思われまます。歳入の減少分を補填するため繰越積立金を取り崩してまで現行の活動を続けるべきかこの新型コロナウイルス禍において、これから会工に入学する生徒達、すなわち未来の同窓生のためにも一考する時期に来ていると思ひます。

至誠勤労

初志貫徹

いわき会工会 OB会としての つながり強さ

会長 佐野 容昭
(昭32E卒)

昭和、平成、令和と年代は変化しますがそれに増して人との関係がコロナ騒動を含め希薄になりつつあることに淋しさを感じます。私も82才を過ぎ83才が近づく年を考えると昔のことを思い出します。

私事です。2011年の東北地方を襲った地震、津波と原子力災害の発生した時、東京電力のOBとして福島第一原子力発電所OB会長としておりました。現場で頑張っている後輩達(会工の同窓生も数人おりました)その時の福島第一の原子力発電所の所長が亡くなられた吉田氏でした。現場にいる人達が飲む水、寝る時の寝具、食料等がなく本当に大変な毎日を通し復興につとめているのを所長からの電話で知らされOB会として何か支援が出来ないかと泣きながらお互いに話した事を今さらながら思い出されます。私も早速東京本社でのOB臨時の役員会に出席し現状を訴え支援を要請や協力をお願いし、各所からの支援をいただき福島第一原子力発電所にお渡ししました。その時に

感じましたOB会としてのつながりと強さです。吉田所長から泣きながらお礼をいただいた時は一緒に泣きながらがんばってくれるようお願いしました。

今も東電へのお金の請求をやっておる者、昔世話になつても今は今、とお金の要求している者もいます。昔世話になつておる者の半数以上は県民で家族と別々にわかれてがんばつておられます。そこで今日の社会においては、どんなに力んでみたところで一人では生きてゆけない。親兄弟はじめ多くの人びと自然の恵みのもとに暮らしている。そういうものに対して、素直に感謝する心をもつということ、人として当然のことであり忘れてはならないことで常に感謝の心を持って接してこそ、他人の立場を理解して行動できることでOB会としてのつながり強さがさらに生きてゆくと思う。

建友会

会長 白井 武男
(昭45A卒)

新型コロナウイルスの感染拡



建友会無尽会の大先輩

大が全国的に広がる中、会津地域においては8月中旬までは感染者ゼロが続いておりましたが、会津若松市で感染者の初確認以降は、会津医療センターのクラスタ等発生に伴い会津全域で急激に感染拡大しております。この様なコロナ禍の中「新しい生活様式」の実践により、状況に寄っては休業・延期と、感染拡大防止に留意しながら活動を続けております。

建友会会員の皆様ご承知の通り建友会は、通常総会・懇親会を例年の6月の第4土曜日に開催しておりますが、今年度は感染拡大防止の為に自粛中止致しました。

当会は総会の他に、会員の親睦・交流を図る為に建友会旅行

無尽とゴルフ部会の事業を行っています。

『建友会無尽会』は、本建友会の原点であり、この無尽会から本会が始まりました。先輩方の記憶よると60年以上は継続しております。設立時からのメンバーである、第1回昭和24年卒の太田大先輩が無尽会で元気に酒を酌み交わし、旅行にも元気に参加していましたが、昨年惜しまれて退会致しました。一方で現在も5回卒の青山大先輩・小林大先輩が現役で無尽会にも旅行会にもお元気に出席しております。少々高齢化が進みましたが、さすが我が建友会無尽会、60年の歴史の重みを感じております。さらに建友会と無尽会の増強の為、昨年ゴルフ部会を発足しました。

『建友会ゴルフ部会』は、15回卒小山先輩を部会長に28回卒田勢君、31回卒鈴木君、32回卒菊池君を幹事にて発足致しました。現在の登録会員数は40人を超えております。会員には、第1回S24卒竹島大先輩もおり、先回のコンペでも磐梯カントリークラブ2番ホールでパーを取る腕前で、2日連チャンでもプレーする程の元気です。

今年もコロナ禍に負けまいと計画をしましたが開催前に会津での感染が確認された為、ゴルフ部会のコンペを中止致しました。

会工電友会 電友会にどうぞ

会長 鹿目 忠明
(昭43E卒)

同窓生のみなさんいかがお過ごしでしょうか。母校会工は令和4年に120周年を迎えます。学校の様子は大きく変わりました。木造校舎がなくなり、男女共学になっていきます。

また、クラスも大幅に整理統合されています。学習内容も変化しています。電検も6科目から4科目になっています。情報関係の知識も要求されています。卒業から10年、かつての若者だった私もすっかり白髪になってしまい、母校の変化に驚くばかりです。

社会情勢の変化と共にすべてが変わっていく中で、一つ心配

REPORT & MESSAGE

機友会

会長 栗城 和夫
(昭41M卒)

機友会入会式

毎年2月28日に行われています。本校同窓会入会式に引き続いて、機械科卒業生1組・2組の生徒を対象として機友会入会式を行っております。

荒川副会長の開会の挨拶・栗城会長の入会歓迎の言葉に続いて、1組の三瓶素貴君・和田明寿君、2組の齋藤大君・中野陽人君に幹事委託状と入会記念品を贈呈した。次に本校同窓会の方へ出席していただく様、更に同級会を開催して親睦を深まる様お願いした。続いて出席役員の自己紹介と本年は特に出席された高梨哲夫校長より入会歓迎の話を頂いて式を閉じた。尚、校長は、M55年卒業生でありま

す。

定時総会中止

5月30日開催した機友会役員会の席では、7月4日に総会及び懇親会を開催する予定で準備を進めていく事としました。その後、新型コロナウイルス蔓延状況を踏まえて中止やむなしと

セラ友会

会長 二瓶 正人
(昭37K卒)

なり、6月に「機友会定時総会・懇親会」中止のお知らせ文章を会員へ送付いたしました。皆様健康でありますことを御祈念申し上げます。

昨年の5月には新しい令和の時代を迎えセラ友会も設立20周年を迎えました。3回目は美術展は集大成として窯業・セラミック・セラミック化学科卒業生による作品展、同時開催として①現セラミック化学科在校生の作品展、②元名誉顧問・故吉田一榮氏の回顧展③本校・会津若松市ゆかりの松江春次・豊寿氏兄弟展を会津若松市内の「稽古堂」にて4日間行いました。

この事業を通して歴史の伝統継承をベースにした生徒の次世代に繋がる「セラ友会」の一体感を感じました。実行委員の皆様、学校関係者、地域の方々、本部同窓会、各修養会の皆様、セラミック化学科の生徒・科職

員に御礼を申し上げます。一大イベントの成功!! 本当にありがとうございました。

さて、会長として3回目の入会式、卒業式は全てに残る想いで出でましたが「新型コロナウイルス感染拡大」により国、県より緊急事態が発表され、3月以降の事業は余儀なく自粛や中止をせざるを得なくなりまして。本会も先日の役員会にて今年度の定期総会開催を全会一致で中止と致しましたのでご理解、ご了承お願いいたします。

最後に、歴史と伝統に「アグロ」をかかない、新しい変革に対応するセラ友会の存続、継承をスタートとする所存です。学校側、各地区の皆様、本部同窓会、各修養会の代表の方々は変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

―事業報告―

●定期総会2020

7月11日(第2土曜日)開催予定の定期総会は新型コロナウイルス感染拡大により中止。

●「会報2020第17号」と「会

の20年の歩み」発行

令和元年5月に発行。部数400部。会長をはじめ昨年度の活動内容、会員の会員らの寄稿。

また、同校セラミック化学科の活動などを掲載。さらに設立20周年に於いての記事も盛り込みました。今まで発行した会報編集作業に於いては、すべて板垣正宏氏(35K卒)、梨子本傑(41K卒)が担当し、併せて広告も掲載しております。

●入会式

入会式は令和2年2月28日に母校のセラミック化学科の教室にて行いました。同科は窯業科



一意専心

威風堂々

昭和電工 東長原支部

からセラミック科への名称変更を経て8年前から現在の科名になった。セラミック化学科として9回目の卒業生となった卒業生39名が入会した。二瓶正人会長が歓迎のあいさつを述べ、新入会員代表の夏井将剛君に会長賞、全員に記念品を贈った。

●三二研修会「県内の名所紅葉を満喫」
10月29日、秋の三二研修会を開いた。今回の研修は白河市の県文化センター「まほろん」、東日本大震災で復旧した小峰城跡の石垣、南湖公園などを巡り、紅葉などを楽しみながら親睦を深めた。

●役員会・新年会
令和2年2月1日、母校同窓会館「鶴翔会館」にて開き、今年度の事業として総会や設立20周年の記念事業、入会式、講演会、研修会の開催、会報の発行、組織充実などの案件などに取り組みむことを確認した。終了後新年会を開き、出席者が一年の抱負などを語り合いながら交流を深めた。

尚、会発足当時から役員として尽力いただきました島影孝敬顧問が令和2年2月に逝去されましたので報告いたします。

尚、会発足当時から役員として尽力いただきました島影孝敬顧問が令和2年2月に逝去されましたので報告いたします。

尚、会発足当時から役員として尽力いただきました島影孝敬顧問が令和2年2月に逝去されましたので報告いたします。

支部長 大塚裕一郎 (平30C卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

会工同窓会東長原支部は、昭和電工(株)東長原事業所の敷地内に立地する企業で働く、会津工業高校卒業生で組織されており、会員数は昨年より5名増加し83名(令和2年6月現在) 在籍しています。

今年も令和2年度の卒業生を新たに4名会員として迎えることができました。

活動は会員相互の親睦を図るため、毎年春に総会、秋に芋煮会を開催しています。

今年度の春の総会は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を考慮し、開催を延期する判断をいたしました。

幸いにして会津では、感染者の報告はなく、東長原支部の会員に於いても感染者の報告はなく、元気で活動できています。

今年の夏は、熱中症対策と感染予防対策の両立のため、大変活動し難い状況下ではあります。が、地域経済や日本経済、世界経済の停滞が少しでも緩和できるように自身が担うべき活動を確りと全うしていきたいと考えます。

各支部の会員の皆様にかかれまして、必要な感染予防を取りつつご活躍されることと存じます。

共に頑張りましょう。以上

以上

三菱製鋼(株) 会工会

会長 珊瑚 優治 (昭59C卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

この会は、三菱製鋼(株)田製作所に働く会津工業高校の卒業生で構成されています。

年間の活動としては、花見、暑気払い、忘年会、総会と親睦を深める会食会を中心に活動しています。

三菱マテリアル(株) 若松製作所鶴友会

会長 高橋 誠 (昭60E卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

鶴友会(かくゆうかい)とは、三菱マテリアル株式会社若松製作所に勤務する会津工業高校OB会のことです。今年度の4月、親会社に吸収合併され、三菱伸銅株式会社から親会社の社名に変わりました。現在の会員数は



大宰府天満宮集合写真

今年度は、コロナ禍の影響により、活動を自粛しているのが現状です。

4月には、会津工業より1名新入社員を迎えることが出来るらしい限りです。

通常であれば、歓迎会や旅行等を行って楽しい活動を実施していきたくはありますが、今年度に限っては、会社に迷惑をかけるような様子を一年としたいと思います。

皆様方におかれましては、健康に留意してお過ごしください。

REPORT & MESSAGE

OB会

会工元気会

庶務・旧職員 梨子本 傑 (昭41K卒)

や「もつ鍋」を堪能し、会津とは賑やかさの全く違う博多の街を歩いてきました。博多とんこつラーメンの本場である長浜は、客が大勢いて屋台に入れないほどであり、自分は宿泊先近くのラーメン屋で、本場のとんこつラーメンを美味しくいただきました。会員それぞれ博多では楽しい思い出を作り、会津へ無事に帰ってきました。

会工55会

大濱 達明 (昭55K卒)

本年度は、会員の遠藤昭二さんが校旗とバス2台を学校に寄贈されました。

コロナ対策中であつた為、有志を募り10名以下でその都度会合を行いました。

世の中が少しずつ安定し、誰もが安心して暮らせる様になり、会も益々にぎやかに開催できる事を願っております。

【会工元気会役員】

(令和元年10月～令和3年10月)

会長 新國 基次

副会長 猪俣 薫

副会長 服部 昇

副会長 湯田 恒弥

幹事 岩田 善一 (会計)

幹事 菊地 壽雄 (会計)

幹事 梨子本 傑 (庶務)

幹事 五十嵐 進

幹事 吉川 久雄

幹事 川口 芳彦

幹事 佐藤 容子

幹事 平山 賢実

幹事 益子 茂

監査 菅原 健治

監査 山野 敏

令和2年度の会員の動向

○新入会員【令和2年4月】

茂木利幸・大久保甚一

前田宣裕・本田文一

服部良男

○令和元年11月以降にご逝去された会員

赤城良一・三橋清春

稲生義則

会工元気会設立のこと

旧職員 赤城 良一

(令和元年11月～逝去)

第21回会工元気会に出席し、

元氣な皆さんとお会いすることができ、気分よく帰って来ました。思い出して、日記を取り出し、元気会の発足当時のことを調べてみました。

平成9年11月21日、伯楽亭に有志が集まり、会工OB会発起人会を開催しました。

集まったのは、保志和吉、千葉博、小林満美、紺野晋吉、大山次先生と、赤城良一の7名で、翌年の10月にOB会を開催することを決めました。

12月18日に、再び割烹富士に集まり、翌年の2月20日に会工OB会を開催することを決定しました。このときの出席者は、保志和吉、小林満美、太田務、



令和元年10月に開催された会工元気会出席者前列、右側より4人目

山田清、大山次先生と、赤城良一でした。

平成10年2月20日午後4時から、割烹富士に47名の職員OBが集まり、総会を開催しました。最初に、私の司会で規約の審議を行ない、会の名称を会工元気会と決めました。続いて懇親会に入り、永続することを約して散会しました。

9月6日、ひょうたん寿司で会工元気会役員会を開催して、10月の元気会開催の打合せをしました。このときの出席者は、保志和吉、半沢浩、芳賀沼陽一、渡部正男、紺野晋吉、小林満美、太田務、山田清、大山次先生と

寄稿

「応援歌用意」これが人生であった

五十嵐 慧夫 (昭26M卒)

私は昭和7年生れで米寿を迎えたが元気で健康スポーツを楽しんでいる。会工入会は昭和20年の戦争末期であった。そんな時の新入生への先輩達の会工魂たたき込みには恐ろしいものがあった。中でも「応援歌」の練習はそのチャンスであったのだろう。入学1週間後から始まった応援歌特訓は本当に怖かった。

温故知新

乾坤秀靈

今思えば先輩と云っても一年上の14才、考えられない。「応援歌特訓」は毎日2時間、校庭に集合し実施された。先輩から応援歌用意の声がかかると、怖く縮み上げる思いであった。応援歌用意、真新しい学帽を二つに折り「さつ」と形をとる。忽ち壇上の先輩から「ダメダ、オイッ、合わね」これを繰返した。応援歌本番でも同じこと「頑張れ、頑張れ健男児!!」でも同じく出来る迄何回でも「合わねー。元気ねー」の繰返しは怖かった。1週間後上手になり、先輩から「今日で終る。御苦労さん!!」私達は怖さよりも満足感と自信が身についた様な感覚があった。先輩達も応援歌特訓で、会工魂、会津魂、どこの世界に通ずる人間を形成するための一策としてやっているのだと思つた。怖さよりも何か自信がついた。その後、40才の頃、社命により南アフリカでの製鉄所の建設に約2年間派遣された。現地では技術力の他、人・物も不十分で難航の連続であった。ここで作業者達の心の一体感をたせるべく、「応援歌用意、頑張れ、頑張れ」を現地語、英語、にアレンジして「ファイティングソング」として徹底した。

足下を見る

電友会会長 鹿目 忠明 (昭43E卒)

その後種々あったが無事工事期間内に製鉄所は稼動し、帰国

この前、場所は忘れたが靴磨きの所をやっていた。戦後には多く見られ、子供の仕事と云う認識だったので、もう廃れてなくなっているだろうと思つていた。ところが健在だった。立派に職業として成り立っているようだ。そしてお客として靴を磨いてもらっている人にも驚いた。

皆さん高価な靴を履いている。勿論放送用に抜粋されていると思う。就職祝い、結婚記念、転職を決議してとか理由は様々である。靴の値段を聞くと5万円・7万円などで高い人は15万円となる。そのような高い靴を履いたことがない私は都会の人たちはやっぱり違うと驚くばかりだった。そこでふと、「足下を見る」という言葉を思い出した。履いている靴が立派だとその人の人格も立派に見えるのだから、よれよれの汚れた靴からは良い印象は持ちにくいことも事実でしょう。これは服装や身だしなみにも共通すると思う。

使命をもって生きる!!

セラ友会会長 二瓶 正人 (昭37K卒)

私は何をするために生きてきたのか?ある時今一度考えてみた。自分を限りなく成長させるためである。それによって社会に有用な人間になるということであった。

人間は自分のなかに可能性という「天然資源」があるので。充実した毎日を送るには生きる糧を吸収し「心技体」を磨くことであった。

- 1、人の話を素直に傾聴できる人になり頭も身体も柔らかくする。
- 2、健康のことを健康心(健康やかな体、康らかな心)と解りてみました。肉体的にも精神的にも苦痛や悩みのない人こそ本当の健康の持ち主です。そして
- 3、血液「サラサラ」神経「は



2019年7月18日 会津工業高校セラ友会設立20周年記念「美術展」オープンセレモニー主催者あいさつをするS37年K卒 二瓶正人

- 4、自分を変える努力をするのです。自らの内部から火を発し燃える人です。自然発火する人、もらい火で燃える人、中々燃えにくい人、人は様々ですが、火つきの差があっても不燃性にならないことです。
- 5、活力は知力と行動力で育つと私は思う。行動力は意志、根性、やる気そして体力、更には好機を見逃さない直感力に支えられています。
- 6、何でも見てやろう、何でも吸収してやろうという気持ちだが、強すぎると自分の思いが空廻りしないことなりました。
- 7、謙虚に正しいことを見つけたら、あくまでも強く実行に移し行動する。これが活力の源泉なのです。私は力を衰えさせることなく、

REPORT & MESSAGE

自分の丈に合った「心技体」を駆使してみます。能力は錆つくより、磨き減らすべきと考えるからです。「今」に縁が存在するからです。そして前向きに正しいことであれば、それに乗ってみる勇氣の大切さなのです。

会津本郷焼と白虎隊士・飯沼貞吉

梨子本 傑 (昭41K卒)

私は、母校を卒業後、地元・美里町(会津本郷町)にある碍子関係の企業に勤めておりました。この時に碍子製造を通して窯業技術を身につけ6年間つとめた後に退社し、母校の教員として平成20年3月まで36年間お



山川健次郎先生胸像の前で 恩師、宗像精会長と

世話になりました。退職間近に山川健次郎顕彰会が発足されたので恩師のすすめ入会し現在も会員として活動しております。その山川健次郎と飯沼貞吉は、従兄弟同士であった事がわかりました。皆さん知っているように飯沼貞吉は奇跡的に生き残って通信省の技師になっています。今回寄稿依頼があったので会津本郷焼と白虎隊士・飯沼貞吉についてのかかわりをまとめてみました。

二人はともに嘉永7年の生まれの同い年。奇しくも没年も共に同じ昭和6年であった。そんな二人の人生を分けたのは「戊辰戦争」の悲劇である。15歳の健次郎は籠城組となつて戦い、貞吉は年を一つ偽つて白虎隊に入つて戸ノ口原で戦い、最後は飯盛山で自刃するも果たせず、旧知の足軽・印出新蔵の妻ハツの介抱によつて助けられ、九死に一生を得た。自刃で奇跡的に生き残つた白虎隊士である。

やがて健次郎は科学者の道を歩み、わが国初の理学博士となつて東京帝大総長に。一方の貞吉(明治初期に貞雄と改名)は、

国の電信建築技師になつて官吏の道歩んだ。最後は仙台の通信管理局の工務部長を務め、晩年は「死ぬよりも辛いことがあつた」といい、二度と郷里の土は踏まないとする身であつたが、心の内にはひと一倍強い郷土愛があつたのである。明治5年に貞吉は国の工部省の電信修技所を卒業し、翌年には電信技術者として通信省に正式採用となつた。当時、わが国は近代化が本格的に始まり、電信技術がその一翼を担っていた。全国に通信網をめぐらすには電線を張るのに碍子(がいし)が必要である。当時の通信省は佐賀県の出身者が幅をきかせ、碍子は地元の有田焼を用いていた。佐賀県(肥前藩)は、戊辰戦争では「薩長土肥」勢として会津を攻めた敵方である。しかし明治も時代が日清、日露戦争に向かうと戦略、戦術上電信施設が重要であり、碍子の需要も一気に高まつた。

明治23年、健次郎の兄・浩(貴族院議員・後男爵)は会津・本郷の瀬戸物の良さに目をつけ、貞吉に調査を命じた。彼の調査の結果、碍子は有田焼よりも本郷焼が最適となつた。貞吉の努

会津坂下町をもっとアピールしましょう

渡部 栄二 (昭52D卒)

平成30年11月に富士通(株)を定年退職し、平成31年(令和元年)2月に生まれ故郷である会津坂下町に帰り移住しています。

富士通在職中は仕事のSE(システムエンジニア)とは別に、会工時代に部活動していたサッカーもSEグループ内で行い、平成22年からは、富士通が関連していたプロサッカーJ1

川崎フロンタールのホームゲーム&地域活動にも運営ボランティアとして参加しています。また、日本スポーツボランティアネットワークのリーダー資格も取得しマラソン、バスケットボール等の運営ボランティアもしています。

川崎フロンタールは、ホームタウンの地元活性化(笑顔のある町)のために、選手・スタッフ・ボランティアと一緒に「地域の祭り、運動会、防犯活動等」の地域イベントに積極的に参加しています。その結果、毎年J1全体で評価される地域貢献度No.1になっています。坂下町移住後の自転車散歩、暇時間で感じたことは「町の観光は何?アピールは何処?人が少ない?」等々ですね。

休日利用で、仕事やボランティア活動で一緒だった知人・友達と遊びにきますが、その遊び人を連れて行くのは「若松の飯



写真は家室にしている川崎フロンタールより贈られた「選手・スタッフボランティアの書き付きのタペストリーと色紙です。

根性一途

百戦錬磨

盛山・鶴ヶ城、下郷の大内宿、柳津の虚空蔵様、塔寺の立木観音」になります。

今後は、川崎フロンターレ含めた各ボランティア活動で得た経験・スキルを生かして坂下町に貢献、アピールできる地域活動もしたいと思っています。坂下町の良い所・面白い所が有ったら教えて下さい。町外から来た遊び人に自慢すると同時に、SNS等を通じて色んな人に案内します。皆さんの「ご協力、ご支援」をお願いします。

最後になりますが、坂下町に移住してから、東京2020オリパラ運営の福島県都市ボランティア(CITYCAST)リーダーになりました。

活動場所は、(会津若松)鶴ヶ城でPV(パブリックビューイング)を行う予定です。そこでも「坂下町のアピール・案内したいと思っています」、宜しくです。

色鮮やかな人生

相木 隆志 (平7F卒)
平成7年3月に母校、会津工業高校を卒業し地元専門学校に進学しました。卒業後は建設業界で経験を積み、現在は実家

の電気工事業を二代目として営んでおります。

セラミック科を卒業してから専門学校で電気工事について学びましたが、電気工事士として社会に飛び込んだ頃はとても苦労をいたしました。多くの友人やお世話になった先生方、職場の先輩方に支えられ、当時の苦労を乗り越え今の自分があると、とても感謝しております。

私たち卒業生は幅広く社会を支え各方面で活躍する厚い世代層になりました。活力みなぎる若い時代に会工魂の精神で一生懸命励むことの大切さや喜び、苦労を経験しなければ乗り越えられない仕事の達成感を学びました。このかけがえのない経験が実社会においての大切な人生訓なのだと思っております。

今国内外問わず情報が飛び、革新、経済におけるグローバル化と簡単に国境を越えることが出来る時代になりました。この時代を切り拓く力を学んだ先輩方。時代の波に立ち向かう力に身をつけていく後輩たち。困難



な時代を乗り越えるために会工を拠点に結ばれ、さまざまな世代的力を共有し、発揮できれば素晴らしいことだと感じております。

今はSNSで情報をすぐに手に入れることができますが、人と人の繋がりを大切に目と目を見て話し合いをすることでSNS以上の情報を共有できることを信じております。そのためにも、セラ友会、同窓会などをもっと有効活用し、まずは若い世代からの参加を期待しております。職種が異なっても人と人との関りは確実にあると思えます。

県マスターズ駅伝 三連覇達成

高橋 誠 (昭60E卒)
県マスターズ駅伝とは、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代の5名でチームを組んで、一人4キロを走り、襷を繋ぐ駅伝のことです。この大会は毎年9月の敬老の日に、あづま運動

公園で開催されています。この駅伝で常に優勝しているのが、高校時代の強豪校である田村高校と日大東北高校でしたが、会津工業高校OBチームが現在三連覇しております。

今年の大会は、コロナ感染防止のため、残念ながら中止となってしまいました。このため、目標である四連覇は来年に繰り越してなっています。

このため、昨年の三連覇達成時の報告をいたします。

三連覇を狙うため、湯田哲郎監督(S56D卒)と倉本浩二キヤプテン(S57A卒)が中心となり、この駅伝に参加可能な方でチーム編成を行い、優勝を狙う亀チームと、楽しんで走る亀チームの2チームを作りました。

亀チームは2018年度の二連覇した時のメンバー5名中2名を入れ替え、三連覇を目指すチームが出来ました。

レース展開は、三連覇を阻止しようと、田村高校、日大東北高校、初参加初優勝を目指す会津農林高校チームの戦力が素晴らしい中で、1区(20歳代)の一重嶺太選手(H21F卒)が先頭集団に食らいつき挽回可能なタイムで2区(40歳代)の五十

嵐由次選手へ襷を繋ぎました。五十嵐由次選手の快走で先頭との差を詰め、3区(50歳代)の高橋誠選手(S60E卒)が区間賞の走りで先頭に立ち、4区の大堀利文選手(H11A卒)が2位との差をキープしながら5区(60歳代)の倉本菜里選手(助っ人、倉本浩二キヤプテンの御子)に襷を渡し、追い上げる会津農林高校に詰められました。が、何とか50m差で逃げ切り、三連覇を達成しました。

楽しむ亀チームは、1区が箕田英二選手(H26卒)、2区が真部誠選手(S59M卒)、3区が星勉選手(S55卒)、4区が池田忠義選手(H11卒)、5区が猪俣隆行選手(S50L卒)が襷を繋ぎ、入賞は逃しましたが楽しんで走りました。

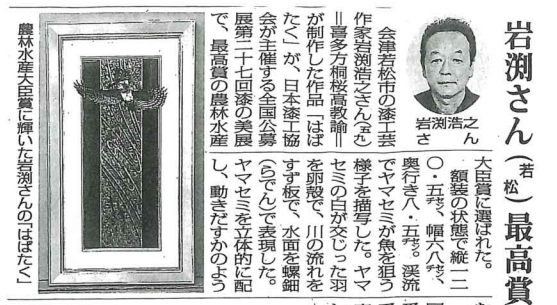
今回は、高梨校長先生が会場へ駆けつけ応援してくれ、目の前で優勝ができ、三連覇を報告出来ました。

来年はコロナが収束し県マスターズ駅伝も開催されると思うので、四連覇目指して頑張ろうと思っております。



今年度受賞・活躍された先輩

日本漆工芸協会全国公募展



岩淵さん(若松)最高賞 日本漆工芸協会全国公募展
いと語した。岩淵さんは日展委員、日本漆工芸協会理事、工友、日本漆工芸協会副会長、和会会長、日展で二度、林野庁長官賞(一回)、日展で二度、内閣総理大臣賞(一回)を受けている。県展でも表現は限りがない。新活躍し審査員を務めたいと語った。

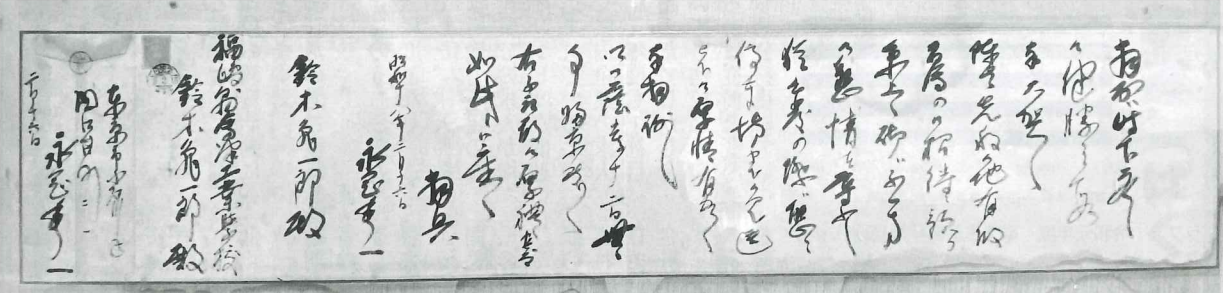
詩絵作品展示

30日まで詩絵作品展示
若松 小林さん作の額絵や器



色鮮やかな漆作品を紹介する小林さん
き出し詩絵、などを展覧した。小林さんは「新しいコロナウイルスで大変な時代だが、作品を見て、ひとときの癒やしになればうれしい」と話している。

トピックス・寄贈



柔道大家 永岡秀一先生から本校鈴木亀一郎先生への手紙



『波濤の響』寄贈 いわき会工顧問 上野哲さん(昭28A)右(日本墨画協会理事・雅号 上野哲泉)



同窓会活動支援金として「10万円」を同窓会に寄付 猪苗代会工顧問 山口一男さん(昭37A)左

母校だより

歴史と伝統と未来の会工

教頭 厚海 肇

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に際しましてご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。早いもので平成三十年四月に着任して以来三年が経ちました。三年の間、歴史と伝統ある会工で様々な発見と感動がありました。まずは、創立に向けた多くの方々の熱き思いです。創立当初は実習設備や機械など無い中、多額の資金や工作機械をご寄付いただき、県内初の工業学校として誕生したのが現在の会津工業高校であると知りませんでした。恥ずかしながら、会工に勤務するまで松江春次氏について何も知らず、なぜ校門横に「松江春次記念館」があるのかも知りませんでした。しかし、知れば知るほど、その功績と熱き思いを知ることができました。後にサイパンで「シユガーキング」と呼ばれ、野口英世博士と同級生であり、兄の松江豊寿氏は第一次世界大戦当時に、徳島県にあった板東俘虜収容所の所長を務め、捕虜となったドイツ兵と「対等の人間」として大切に付き合ひ、「ペーベン」の第九」が現在も日本で歌い続けられていたことも知りました。会工は、まさに歴史と伝統を受け継いできた学校であると感じ、感動いたしました。その熱き思いは今も連綿と受け継がれており、昨年度は校旗、今年度はマイククロパスを二台など、多大なるご寄附をいただいております。そのご支援とご厚情に感謝申し上げます。

今も生徒達に受け継がれている、応援団のリードによる校歌や応援歌に加えて、表彰式に歌われる創立100周年記念歌「会工賛歌」など、元気に誇らしげに歌う生徒を見てると、次の時代へ歴史を繋いでいくのはこの生徒達だと感慨深く思います。会工生には良き伝統文化と先輩方の熱き思いを胸に抱きながら「感動」「情熱」をもって次世代を切り拓いていただきたいと思います。

同窓生の皆様には、歴史と伝統文化を継承しつつ、新しい「未来の会工」のために、今後とも相変わらぬご支援とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

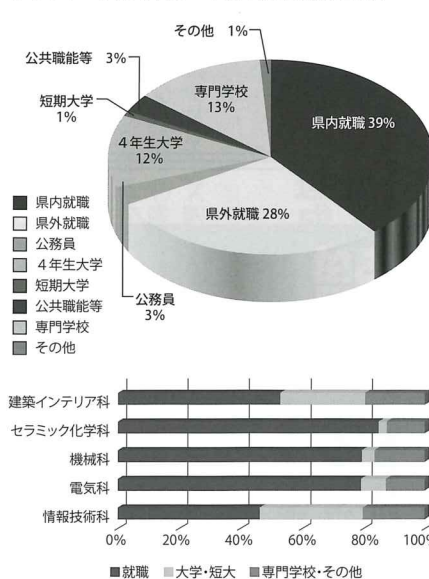
進路指導部から

主任 大塚 正幸

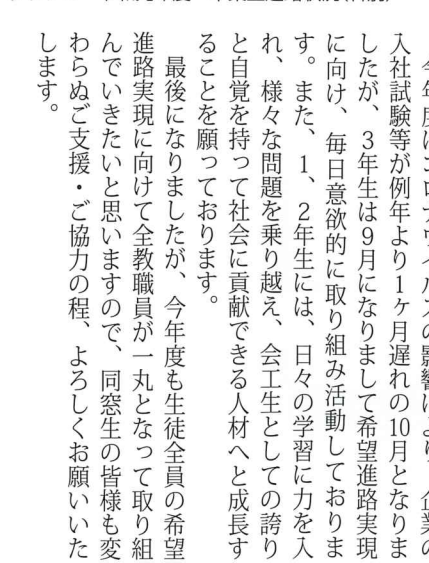
同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援をいただき誠にありがとうございます。さて、昨年度の進路状況をまとめましたのでご覧ください。

就職者の合計は、163名でした。このうち民間就職内定者は、155名で卒業生徒の%程度となり、ここ数年とほぼ同程度の就職者の割合でした。求人数も1200件を超えています。深刻な労働力不足のため製造、建設、電気関係など多くの産業での求人が増えており、震災復興関連事業、東京オリンピック関連の公共事業にまだ継続的な需要が見込まれているといえます。さらに近年は以前よりも早く県内企業の求人票が提出される傾向にあります。令和元年度も1社目の挑戦で内定を頂いた割合が90%を超えた。しかし今後も大手企業や人気企業は求人を探しているのは従前と変わり争率が高く、優秀な人材を求めているのは従前と変わりはないので油断や楽観は禁物である。公務員についても

グラフ1 令和元年度 卒業生進路状況(全体)



グラフ2 令和元年度 卒業生進路状況(科別)



では、8名合格し、人気の高い職種は昨年度も警察、消防、自衛隊という傾向でした。進学者の合計は、68名でした。大学・短大の割合が低く専門学校の割合が上回りました。進学者全体の割合は昨年よりやや増加しましたが、国公立大学は会津短期大学2名のみ合格にとどまりました。大学進学者の多くは、ほとんどが指定校推薦で工業系の学部に進んでいます。工業高校で学んだスキルを向上させ、将来的に専門性を活かした企業への就職を考えているようです。専門学校進学者は、どちらかというと工業関係以外の分野、例えば医療・美容・ファッション系の専門学校に進学する生徒が多かったようです。今年度の状況としては、当初コロナウイルスの影響が心配されましたが、就職・進学ともに昨年同様に戻った状況です。具体的には、就職については8月末現在で県内企業260社程度・県外企業860社程度の合計1100社以上の企業より求人票を頂いております。進学についても8月末現在で大学72校・短大20校の合計94校より、専門学校については85校より指定校を頂いております。

今年度はコロナウイルスの影響により、企業の入社試験等が例年より1ヶ月遅れの10月となりましたが、3年生は9月になりまして希望進路実現に向け、毎日意欲的に取り組み活動しております。また、1、2年生には、日々の学習に力を入れ、様々な問題乗り越え、会工生としての誇りと自覚を持って社会に貢献できる人材へと成長することを願っております。

最後になりましたが、今年度も生徒全員の希望進路実現に向けて全教職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、同窓生の皆様も変わらぬご支援・ご協力の程、よろしく願いたします。

1年生、元気に、前向きに、へこたれず!

1学年主任 菅家 慶広

同窓生の皆様にはいつも大変お世話になっております。日々の生徒達への温かいご支援とご指導に改めて感謝申し上げます。

さて令和二年度の新入生から入試の選抜方法が変わりました。簡単に言えば従来のI期選抜がなくなり学力検査一発勝負という形となりました。試験中みんなマスク姿。合格発表・オリエンテーション・入学式・全員マスク姿。その後毎日マスク姿。何が言いたいのかというと新入生が実際にどんな顔をしているのかがよくわからず、名前も覚えるまで時間がかかってしまったということです。そして教員の仕事柄、生徒の表情が読めないということは本当につらいことだと痛感しました。(当然生徒もマスクをして

が印象的でした。(文言は正確ではないですが)以下のようなことをおっしゃっていました。「生徒たちは突然自分たちを襲う不幸や困難に動けないために毎日、死ぬ気で練習をしている。だからこの程度のことではうちの生徒はへこたれないんですよ。」このことばに私は感動しました。この世の中、私たちがいつ災いが襲ってくるかわかりません。地震、豪雨・台風、疫病、経済危機…。1年生のみならず長い人生、へこたれない、強い人になって欲しいと切に感じています。

慕進(ばくしん)

2学年主任 長谷沼 徹

2020東京オリンピック・パライピックの開催の年、2年生にとっては高校生活で一番充実した印象に残る1年になるはずでした。10月上旬に予定されていたインターンシップの中止、11月上旬に予定されていた修学旅行の中止、今まで当たり前だったことが一変しました。朝起きて学校に登校して、勉強して、部活動をしての日常が、自宅待機だったり、分散登校だったり今までに経験したことのない日々でした。

かつてひたむきに突き進んでほしいという思いを込めてこの言葉を選びました。ひたむきに突き進むということは、あてもなく考えもなしにただ勢いに任せて突っ走るといったことではありません。目標を実現するために自分がしたい事、自分がしなければならぬことを判断し、力の限り努力することです。私たちは南高生全員がむしやりに意欲的に活動に向かい、南高卒業後も何事も諦めない人であり続けられる人を目指してほしいと思っています。活動を振り返るときに悔いなく一杯頑張れたと胸を張って言える一年間を創っていきましょう。

先日、山形県立山形南高等学校(<http://www.yamanan-h.ed.jp>)に練習試合に行きました。山形南高校は山形県屈指の進学校で令和3年10月に創立80周年を迎えます。昨年度の実績では、現役国公立大学合格者が270名中150名でした。「文武両道」「師弟同行」「質実剛健」を校是に掲げ、勉学は言うに及ばず、生徒会活動や部活動など特別活動にも熱い情熱を傾けている学校です。その校門前の掲示板に生徒会の今年のスローガン「慕進」が掲げられていました。「慕進」に込めた思いの中に、慕進(ばくしん)には、勢いよくひたすらに真つすすむ進むという意味があります。南高生は、文武両道を目標に日々勉強や部活動に必死に励んでいます。自分自身で決めた目標に向

ではありますが、来年の夏には、2020東京オリンピック・パライピックが開催され、それぞれが希望の進路実現を果たし、充実した印象に残る1年になって欲しいと思います。同窓生の皆様にも温かいご支援とご支援、ご指導をよろしく願いたします。



ところで夏の甲子園大会が中止になったとき、全国の高校球児・学校関係者が失望したことは記憶に新しいと思います。しかしある関西の強豪校の監督さんのコメント

とあります。甲子園大会が中止になったとき、全国の高校球児・学校関係者が失望したことは記憶に新しいと思います。しかしある関西の強豪校の監督さんのコメント

母校だより

母校だより

目に見えないもの

3 学年主任 大原 満

新型コロナウイルスの感染拡大は、学校を長期休校にさせたために進路指導の期間が短縮し、就職説明会を中止する企業もありました。学校が再開されても、基礎学力の担保を最優先することになってしまい、その他の三密につながる活動は制限されました。

三年生も希望職種で採用がないため、専門学校に進むか希望職種変える動きもありました。

生徒にとって不安な状態が続いていますが、我々三学年スタッフとしても現在の社会の情勢や現場の状況など情報収集を行い、限られた期間や動き方の中で、一人でも多くの高校生に求人情報を届け、有意義な採用活動を行えるよう努力している所です。

に見えないものです。目に見えないものを大切にする力こそが、学びの哲学だと思えます。私達が所属している地域や集団・団体などには、それぞれに歴史があり、先達や前任の人々が築いてきた大切な伝統があります。それは、その地域の気質や校風、家風といったものとして現れています。伝統は、それを引き継いでいくために相応の能力や精神力、技術を必要とするため、それらを身に付けようと切磋琢磨することが、自分自身を向上させる為の糧にもなるのです。私たちは、地に足をつけて、目に見えない貴重な伝統をより良い状態で後世に遺していくことが、今の私達の使命であると確信しています。



最後になりましたが、我々三学年は、社会や他人に迷惑をかけない、学力に優れ、健やかで伝統を大切にしたい人材を育成することを目標に努力して行きたいと思えます。諸先輩方の様々な場面での応援を今後もよろしくお願いいたします。

松江賞

建築インテリア科
猪俣 楓



機械科二組
浅野 悠斗



建築インテリア科
佐藤 優生



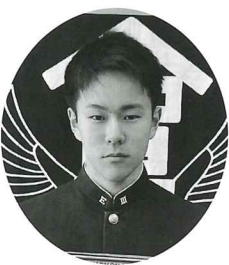
機械科二組
山口 功誠



セラミック化学科
高瀬 慶



電気科
渡部 駿斗



セラミック化学科
小山 真希



電気科
千景 琉生



機械科一組
和田 明寿



情報技術科
小沼 千夏



機械科一組
三瓶 素貴



情報技術科
廣田 純也



同窓会賞



令和元年度卒（令和2年2月28日受賞式にて）

「松江賞」「同窓会賞」受賞!!

投稿用メールアドレス kaikoudousoukai@agate.plala.or.jp

同窓会ホームページ開設

スマートフォンからもご覧になれます



- （手順）
- ①お手持ちのスマホにQRコード読み取りアプリがなければ、iPhoneは「App Store」から、Androidは「Google play」からインストールしてください。
 - ②QRコード読み取りアプリを開きます。画面内に大きな四角の枠が表示されるので、枠内に収まるように上記QRコードを映してください。
 - ③正しく読めると、コードに埋め込まれたURLが表示されます。
 - ④URLを開くを選択しますとブラウザ選択画面が表示されますので、お好みのブラウザを選択してください。
 - ⑤同窓会関連連絡を選択します。
 - ⑥同窓会一覧に入りましたら見たい項目を選択してください。



QRコード

平和の覇者を育みぬ。

校歌から

学び舎 ロケーション① 専門課程は、いま。

A

建築インテリア科

主任 佐藤 聖

同窓生の皆様方、特に建友会の諸先輩方には日頃より大変お世話になっており改めて感謝申し上げます。今年度も本科の生徒は勉強に資格取得、部活動、生徒会活動に明るく積極的に取り組んでおります。今年度の建築インテリア科の関係職員は以下の通りです。よろしくお願いたします。

【建築インテリア科】

※今年度新たに転入

- 佐藤 聖 (主任)
- 長谷沼 徹 菅家 慶広
- 渡辺 学 高橋 弘光
- 飯塚 誠 ※矢部晃太郎

【クラス担任】

- ◆1学年
 - 担任 菅家 慶広
 - 副担任 齋藤 桂子(家庭科)

- ◆2学年
 - 担任 長谷沼 徹
 - 副担任 高橋 芙美(数学科)
- ◆3学年
 - 担任 日出山亜希子 (国語科)
 - 副担任 佐藤 聖

さて昨年度の進路状況ですが、前年に引き続き建築業界からの求人数は多く、恵まれた年となりました。就職と進学との割合はほぼ同数で、就職者の約半数は地元企業へ就職をしました。進学者の内訳は4年生大学への進学が半分を占め、残りの半数は専門学校や短期大学への進学



高校生アートコンペティション2019入選作品

となりました。就職・進学共に建築の分野を希望している生徒は全体の約半分程度となりました。昨年度の生徒たちの活躍を紹介いたします。まず大阪芸術大学グループ主催の「高校生アートコンペティション2019」では、昨年度の4位にはとどきませんでした。橘知輝くんが建築部門で見事「入選」を果たしました。また全国工業高等学校長協会主催のジュニアマイスター顕彰制度では、シルバーが10名、ブロンズが2名と多数の受賞者を輩出しました。資格試験では難関の2級建築施工管理技術者試験(学科試験)で15名の合格、国家技能検定3級(建築大工)では4名の合格を果たしました。

3年生の課題研究の授業では、東日本大震災で仮設住宅として使用された板倉工法による遊具を作成し、マスコミにも大きく取り上げられ評判を呼び、年度末に福島県立博物館へ寄贈されました。部活動ではスキー部の2学年星将矢くんが県高校体育大会の

アルペン競技、回転・大回転で初優勝。見事2冠の達成を果たしました。今年度は新型コロナウイルスの感染予防で4月・5月と自宅学習が続き、5月下旬より分散登校、6月1日よりようやく本格的な学習活動が始まりました。1学期の終業式も7月17日から7月31日へ変更になり、就職試験も1か月遅れてスタートする等影響がでていますが、生徒達は毎日元気に学校生活を送っております。毎年開催される建友会総会が中止になり、大先輩や卒業生には会うことができませんでしたが、今後とも後輩のために温かいご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

C

セラミック化学科

主任 石崎 晃

同窓会の方々には、大変お世話になりありがとうございます。昨年度は、同窓会のセラ友創立20周年記念行事の美術展に本校生徒も参加させていただきました。



校生と大先輩の交流も深まり、有意義なひと時を過ごすことができました。本年度は新型コロナウイルスの感染対策のため、例年行われていた各種校外行事が中止となり、生徒の活動報告が少ないのが残念です。このような事態の中で学校の様子や行事参加についてご報告させていただきます。

【クラス担任と生徒数】

- ◆1年 担任 熊谷 好広
 - 生徒40名(男子12名、女子28名)
- ◆2年 担任 大木 孝之
 - 生徒39名(男子23名、女子16名)
- ◆3年 担任 大原 満
 - 生徒38名(男子24名、女子14名)

【主な学科の行事など】

- ◆せと市代替イベント参加(8月)
- ◆生徒作品展示(会津美里町インフオメーションセンター内)
- ◆あいつながちまちアートプロジェクト2020 U-18作品展出品(10月)
- (會津橋土壁一階フロア)

- ◎作品 8点
- 「そよ風」 芳賀 芳輝 (3年)
- 「山あり谷あり」
- 「紺青」 菊地 裕人 (3年)
- 「漆黒」 星 翔太 (3年)
- 「大地の広がり」 小椋 流星 (3年)

- 「朽木」 佐藤 匠 (3年)
- 「黒浜鉄釉茶碗」 木村 颯太 (3年)
- 「黒炭鉢」 酒井 源太 (2年)
- 「黒炭鉢」 片桐 成 (2年)
- ◆福島県高校生ものづくりコンテスト2020 (10月)：郡山北工業高校)
- 化学分析部門の参加選手2名
- 大竹 アヤ
- 鈴木 璃音

M

機械科

科長 岩沢 巖

今年度の人事異動では、長年教員生活をされてきた前の機械科科長茂木利幸先生が退職となりました。現在は、再任用教諭として引き続き本校機械科でご尽力いただいております。また、本校に5年間勤務された斎藤雅夫先生が、郡山養護学校に転出。常勤講師で勤務された荒木田優哉先生が、教員採用試験

に合格され、新採用教諭として引き続き本校機械科に勤務することとなりました。後任として永峯宏彦先生が小高産業技術高校から、また、新採用補助教員として山野敏先生が、それぞれ着任されました。そのため今年の機械科のスタッフは、14名でのスタートとなりました。機械科は、本校の工業科の中でも、最もバランスのとれた年代構成になっており、素晴らしいスタッフであります。

担任は、1年生は1組岩橋学教諭・2組加藤善範教諭、2年生は1組古川高清教諭・2組馬場正文教諭、3年生は1組武田秀幸教諭・2組佐野正司教諭の6名でクラス経営にあたっていきます。機械科では、「ものづくりは人づくり」を科の重点目標に掲げて、教育活動にあたっております。ただ、最近、基礎学力の低下が顕著に見られるため、基礎・基本の定着と基礎学力の向上を図るべく、職員一丸となって取り組んでいます。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、年度当初より休校措置がとられ、また、学校行事も思うように行えない状況にありました。部活動などの各種大会も軒並み中止となり、生徒には悲しい思いをさせてしまう結果となりました。夏休みも短縮され、2学期が始まったのは、ようやく9月になってからでした。今年度は、

精選されてしまった機械科の行事や各種の取り組みの現状ではありますが、簡単に報告させていただきます。

- ◆今年度の機械科行事
 - ・6月…新入生対面式
 - ・7月…機械製図検定
 - ・8月…ガス溶接技能講習会
 - ・9月…基礎製図検定
 - ・10月…二級・三級技能検定(普通旋盤) 後期講習会
 - ・11月…ふいで祭
 - ・12月…二級・三級技能検定(普通旋盤) 後期試験
 - ・1月…機械科課題研究発表会
 - ・2月…同窓会校友会入会式
- ◆進路について
 - ・昨年度の進路状況は、就職が61名(内公務員3名)、4年生大卒3名、専門学校13名の計77名が巣立ちました。
 - ・また、昨年は77名全員が希望の進路に内定しました。内定率100%を達成することができました。
 - ・昨年も、多くの企業からの求人があり、生徒にとっては選択の幅が広く、担任としては大変助かった年になりました。今年も多くの人材が求まりました。内定率100%を目指して進路指導を行いたいと思います。
 - ・しかし、今年問題になっているのは、新型コロナウイルス感染症による影響です。本来、各学

年で実施している企業見学が、感染予防などの理由により実施できなかつた点。また、就職受験前企業見学のリモート化など、本来、職場を直に見学し、実際に働いている方の作業風景などを見学させていただいたりして自分に合っている仕事内容なのかどうかを最終的に見極めるチャンスでもあるのですが、難しい場合もありました。今後は、十分な感染予防対策を行うとともに、企業理解を深めさせる努力をしていきたいと考えています。



相澤鐵工所製 シャー設置

- ◆各種大会での参加と活躍
 - 福島県高校生ものづくりコンテスト2019 旋盤作業部門 第4位(2年2組 渡部太郎)
 - ワールドエコノムープ2020
- ◆各種資格取得について
 - 機械製図検定試験、基礎製図検定試験、ボイラー二級国家試験、危険物取扱者試験、品質管理検定試験、3級技能検定(普通旋盤) など、専門分野の資格に多くの生徒が数年前は挑戦して、すばらしい結果を残していました。ここ数年資格に挑戦する生徒が少なくなっています。その結果、ジュニアマイスター顕彰で表彰される生徒も少なくなっているのが、現状です。
- ◆全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰
 - ジュニアマイスターゴールド
 - 真部優輔(3M1)
 - ジュニアマイスターシルバー
 - ・佐藤大晟(3M2) 以上2名
- ◆その他
 - 昨年度搬入された機械
 - ・相澤鐵工所 シャーの設置

E

電気科

主任 志田 博隆

本校電気科は、社会インフラ、経済を支える電気事業を通して社会を支える人材の育成を目指し、日々の教育活動に励んでいます。さて、今年度の人事異動で清陵情報高校より着任しました志田が主任を務めることとなりました。また、昨年度まで勤務された中野善司先生、阿部昇二先生が退職、小川拓也先生が白

- (大瀧村)：中止
- 福島県高校生ロボット競技大会：不参加
- 本田宗一郎杯ホンダエコマイレッジチャレンジ全国大会2020：中止
- ◆各種イベントへとコンテストへの参加
 - ロボコンinあいつ2020
 - …中止

機械科は毎年新しい機械・更新された機械の搬入があります。設備も新しくきれいな環境のもとで、生徒・教員が一丸となって授業に取り組んでいきたいと考えております。最後になりましたが、OBの皆様には、今後とも機械科に対して、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。また、毎年、同窓会機友会から機械研修部に対して激励金をご支援いただいていることに対しても厚く感謝申し上げます。

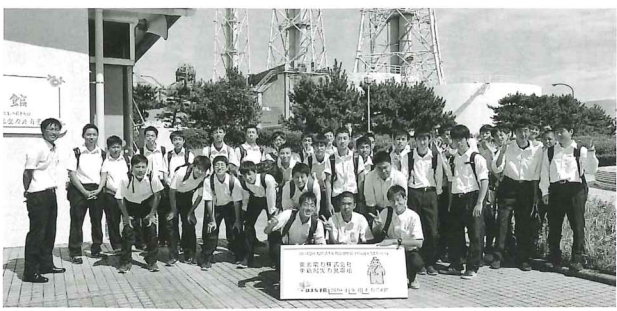
今年度設置された機器

河美業高校へ転任され、二本松工業高校より中丸淳先生、新採用の浅野直史先生、時間講師として菊地壽雄先生を迎え、本年度の電気科教員は7名となりました。

学級担任は、1年生は永倉良正先生（工業・電気）、2年生は鈴木大樹先生（工業・電気）、3年生は齋藤辰也先生（保健体育）です。

令和元年度電気科の活動状況

1 令和元年度の進路状況
就職希望者は30名で、県外企業21名、県内企業8名、公務員（下郷町職員）1名が内定をいただきました。地元企業はもちらんのこと、県内外の企業まで



発電所見学

電気関係の求人数が層化傾向にあり、就職を希望する生徒にとって良好な状況でした。

進学希望者は8名で、4年生大学に3名、専門学校5名が合格しました。

2 令和元年度の主な学科行事

東北電力株式会社のご厚意により1年生は東新潟火力発電所・2年生は柳津西山地熱発電所・第二沼沢発電所を見学させていただきました。電気科の学びの中心となる発電の仕組みやエネルギーについて理解を深め、将来の進路選択に大いに役立つ良い機会となりました。

3 資格取得状況

第二種電気工事士
43名合格（78%）

第一種電気工事士
11名合格（32%）

第二種電気工事士は1年生の上期に全員が受験しています。卒業までにすべての生徒が取得できるようサポートをしていきたいと思えます。また、第一種電気工事士も年々受験を希望する生徒が増えており、一人でも多くの生徒が取得できるよう励みたいと思えます。

4 各種大会・コンテスト
福島県高校生ものづくりコンテスト2019「電気工部門」に1年生の齋藤朴人君が出場し、熱心な練習の成果もあり、第2位に輝きました。

今年度も社会に貢献できる人材の育成を目標に、専門科目の学習指導、資格指導に励みたいと思えます。最後になりましたが、同窓会の皆様には電気科の活動に目を向けていただき、ご指導、ご助言をいただき、感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

情報技術科

主任 佐久間 智広

今年度の人事異動におきまして、情報技術科では7年間勤務された小関裕二先生が二本松工業高校へ、5年間勤務された山本義文先生が喜多方桐蔭高校へそれぞれ転出となりました。後任として、ともに本校OBである新卒で新任の皆川海都先生、本校建築インテリア科より遠藤智秀先生を新たに迎え6名体制で担当しています。今回の異動により、科のスタッフの年齢層は一気に若返りました。クラス担任は1学年に本校2年目の大石友里恵先生（国語）、2学年に昨年引き続き安部有香子先生（英語）、3学年も昨年引き続き川井勉先生（数学）が担当してクラス経営に当たっています。現在、情報技術科には全学年で118名の生徒が在籍しています。

し取り組んで行きたいと思っております。

（進路関連）
令和元年度の進路状況は、前年度よりも大学進学を希望する者が増加し、地元の日本大学5名など情報系学科を中心に13名が大学へ進学しました。専門学校へは情報系を始め医療、美容など多様な分野に8名が進学しています。一方、就職者は県外企業へ就職した者が前年度の15名から5名に減り、県内企業へは前年度と同じ10名が製造業を中心に就職しています。製造業の現場ではIoTの活用や、組み込み技術などで装置への制御プログラムを実装する機会が増加しており、それに伴ってITエンジニアの需要も増加の一途をたどることが予想されます。情報技術科は情報関連のソフト面とハード面の両方を学習できる点において会津地区情報系学科では唯一であり、本学科の強みとしてこれからもより一層発揮されていくものと思われまます。なお、公務員へも国土交通省、市役所職員、警察官へ3名の内定者を輩出しています。

・高校生ものづくりコンテスト（電子回路組み立て部門3位）
・マイクロロボコン
などの各種大会へ参加しています。特にパソコン甲子園では全国レベルで競いながら優秀な成績を収めています。

資格取得についても
・応用情報技術者
・基本情報技術者
・電気通信工事担任者
などの高校生ではかなり難関といわれる資格へも合格者を輩出しています。

これからも、情報技術科は情報技術の専門科目の学習を通して、今後ますます進展する情報化社会へ対応でき、幅広い産業で需要の高まっている情報関連の技術力で各種産業に貢献できる人材の育成を目指して取り組んで行きたいと思えます。同窓会の皆様からは、日頃より教育活動にご理解を頂き心から感謝申し上げます。今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

奮るえや会工の健男児

応援歌から

2020会工、鍛えの各部

山岳部

顧問 川井 勉
菅家 慶 広



山岳部は1年生3名、2年生12名、3年生3名の計18名で活動しています。その中には他の部から転部してきた生徒が6名います。2年生は昨年北アルプスで登山の楽しさを体験したからか、とても増えました。今年度はコロナウイルスの影響により、ほとんど登山ができ

ませんでした。バスでの移動やテント泊ができない規制があり、9月に背負り山へ、登山道は熊で閉鎖のため車道のみで登りました。県新人大会は那須の赤面山へ旅館1泊でいきました。人数が多いため私有者での移動ができないのも回数を減らしています。

コロナウイルスの影響により、今後どのような活動ができるかわかりませんが、早く収束し、正常な活動ができることを期待しています。

サッカー部

顧問 江本 城 幸
加藤 善 範
佐野 正 司

サッカー部は、選手51名（3年生17名、2年生15名、1年生19名）と女子マネージャー6名（各学年2名）の計57名で活動し、会津地区大会優勝、県大会ベスト4以上、福島県サッカーリーグ（F3リーグ）を優勝し、F2リーグ昇格戦を勝ち上がり、F2リーグ復活を目標に日々厳しい練習に臨んでいます。



か、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、インターハイやF3リーグの大会が中止になり練習する機会も奪われ、何を目標に練習すればよいか分からなくなっていました。しかし、3年生最後の大会でもある、全国高校サッカー選手権福島県大会が開催されることになり、新

たな目標ができチームも一つになることができました。その結果、1次予選を勝ち抜き3年ぶりに2次大会（ベスト28）に進出することができました。2次大会では強豪校ばかりですが、会津工業高校サッカー部が第3位（ベスト4）になった歴史がありますので、その記録を今年に破りたいと思えます。仲間を信じ、自分を信じ全力で目の前の敵に立ち向かっていきたいと思えます。会津工業高校サッカー部に熱い応援をお願いします。

バドミントン部

顧問 栗田 克 志
馬場 正 丈
熊谷 好 広
矢部 晃 太郎

バドミントン部は、男子23名、女子4名の計27名で活動しています。今年度は、本校の卒業生で新任の矢部先生が指導陣に加わり練習内容がよりハードになっています。矢部先生の東北地区大学選手権大会ダブルス二連覇の実力は生徒達の目標そのものになっています。着実に実力



が付いてきたところ、新型コロナウイルス感染症拡大により目標にしていたインターハイが中止になり残念でしたが、代替大会が開かれ会津地区大会では男子団体で優勝し県大会では3位入賞を果たしました。日頃の練習の成果が発揮できた瞬間でした。今後、上位大会で好成績を残すとともに、人間性や社会性を育み全ての方々に感謝の気持ちを持たず目標に向かって邁進して行きたいです。

バレーボール部

顧問 福島 広 己
益子 茂
永倉 良 正
岩橋 学



男子部が18名、女子部が11名の総勢29名で活動しています。休日は県内外の遠征や練習試合で他校のバレーボール部と切磋琢磨し、男女とも大会での勝利に向かって練習に励んでおります。また、先生方やOB・OGの方々、多くの方々からご指

導・ご助言をいただき大変お世話になっております。今後も礼儀や感謝の心を大切に、一人一人が人間力を磨き、チームワークを重視し、上位大会での活躍できるように、チーム一丸となって努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお祈りします。



ソフトテニス部

顧問 志田 博隆
武田 秀幸
本多 裕美

ソフトテニス部は、新たに1学年男子6名、女子4名が入部し、総勢33名で活動しています。今年度の1学年は男女ともに人数が少なく、多くの部員が入部してくることを期待しているところです。
日頃の練習は、本校にテニス

コートがないため、会津若松市営のテニスコートを借りて行っています。テニスコートを借りることができない日や雨天により移動が難しい日は、校舎内でフットワークを中心としたトレーニングに励んでいます。
今年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から7月までの大会が中止となり、3年生は最後の大会に出場することなく引退することになってしまいました。1・2年生も部活動中止の期間が長く、思うように練習できない日々が続きました。しかし、9月以降に開催される新人戦、インドア大会は予定通り実施されることとなり、目標である東北大会出場を目指して日々の練習に励んでいます。
これからも関係各所や地域の

コートがないため、会津若松市営のテニスコートを借りて行っています。テニスコートを借りることができない日や雨天により移動が難しい日は、校舎内でフットワークを中心としたトレーニングに励んでいます。
今年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から7月までの大会が中止となり、3年生は最後の大会に出場することなく引退することになってしまいました。1・2年生も部活動中止の期間が長く、思うように練習できない日々が続きました。しかし、9月以降に開催される新人戦、インドア大会は予定通り実施されることとなり、目標である東北大会出場を目指して日々の練習に励んでいます。
これからも関係各所や地域の



硬式テニス部

顧問 鈴木 大樹
波井 祥雄



硬式テニス部は、2年生5名、1年生6名の11名でインターハイ出場を目指して日々の練習に励んでいます。学校にテニスコートがないため、毎日の部活動は会津総合運動公園テニスコートや門田緑地テニスコートで取り組んでいます。日々の練習を経て、団体戦や地区大会の個人戦では、シングルス・ダブル

スともに、上位入賞を果たし、県大会の出場権も得ています。また、本テニス部員の多くはこれまでテニス経験がない生徒もいますが、そうした中でも全員が一歩懸命に取り組んでいます。今年度当初はコロナウイルスの影響で、練習時間が確保できない日々が続きましたが、通常通り部活動を行うことができたようになったことから、練習することができ喜びを噛みしめ、一球一球大切に打ち込んでいきたいと思っております。今後も生徒一丸となって取り組んでいきたいと思っております。ご支援よろしくお願いいたします。

バスケットボール部

顧問 阿部 哲也
日出山 亜希子

私たちバスケットボール部は、選手15名(3年生2名、2年生7名、1年生6名)と女子マネージャー3名(各学年1名)の計18名で地区大会優勝、県大会ベスト8を目指して日々練習に励んでいます。普段の練習ではどんなチームを相手にしても走り負けないように走力を強化し、力強い守備から速攻を出す、「堅守速攻」を意識して練習に取り組む、インターハイでは目標を達成するために努力してきました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症防止のために、大会が中止になってしまいました。練習する機会も奪



われ、いつになったら大好きなバスケットボールができるのかと落胆してしまいましたが、代替大会が開催されることになり、もう一度3年生を中心に練習をしました。大会では練習不足のため、コンディションが不十分ではありましたが、3年生が力強いディフェンスと高確率のシューティングで、2年生を牽引し、良い試合をすることができました。目標には届きませんでしたが、3年生の最後を締めくくることができました。その試合後は新チームとなり、体力向上やディフェンスの強化に力を入れて厳しい練習に耐えてきました。目標を達成するためには、チームが団結することやチーム全員が全力で戦う意識を持ち続けることが大切です。また意思の疎通を図ることでチームの雰囲気もよくなるので、練習中にもち

野球部

顧問 齋藤 辰也
岩田 雅也
大越 哲也
渡辺 学

現在野球部は、選手45名(1年16名、2年18名、3年11名)、マネージャー6名で活動しております。
「起き上がり小坊主」のスロウガンのもと甲子園大会出場、そして勝利後の校歌斉唱を目標に雪の少ない冬、グラウンドで汗を流してきました。
しかし、今年度は3月に休校となり活動自粛。4月に再開後も下旬から休校。春の大会中止、夏の甲子園大会の中止が決まり途方に暮れていました。6月に

「起き上がり小坊主」のスロウガンのもと甲子園大会出場、そして勝利後の校歌斉唱を目標に雪の少ない冬、グラウンドで汗を流してきました。
しかし、今年度は3月に休校となり活動自粛。4月に再開後も下旬から休校。春の大会中止、夏の甲子園大会の中止が決まり途方に暮れていました。6月に



剣道部

顧問 古川 高清
菊地 壽雄

感と支えてくださったみなさんへの感謝の気持ちでいっぱいでした。
新チームでは、「常笑野球・常勝軍団」をスローガンに東北大会出場を目指して練習に励んでいます。先輩方と築いた「笑顔」での全力プレーに磨きをかけていきます。いつまた野球ができていなくなるかという不安もありますが、だからこそ「今」を大事にして、その姿が結果としてみなさまに勇気や感動を与えられるようになると信じています。
これからも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。私たちは「やりませう！」



柔道部

顧問 大原 満
菊池 研吾

今年度2名の新入部員を迎え、男子8名の部員で活動しています。平日は、16時から19時30分まで、土曜日は8時30分から12時30分までが練習時間となります。日曜日と水曜日は原則休みで学習時間を確保するように配慮しています。
練習は、経年者が2名入部したことで、練習内容も、基本からではなく応用から始められる

る飛躍に期待します。
今年は、3年生が引退すると男子4人、女子2人と厳しい所ではあります。新部長の渡部晴海を中心にこれから上位大会進出を目指し会工剣道部をより一層盛り上げて行きます。
ようになりました。平日は準備運動、寝技と立技の練習を主体に活動しています。その他、寝技の打ち込み、乱取り、立ち技の打ち込み、乱取り、サーキットトレーニングや筋力アップのトレーニングなど多彩に活動しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で合宿や他県への遠征なども出来ない状態が続いています。
武道場は、一昨年から3年計画で福島県から予算をいただき、量を購入していただきました。今年で完成予定です。その他にシャワールームも完備され、今年の猛暑における熱中症予防のため利用させています。
今年度は、各種大会が中止される中、唯一新人戦高校大会会津地区大会が開催されました。男子団体では第2位。個人は、男子81kg級第2位、90kg級第2位、66kg級、2名出場し第3位。来るべき10月下旬の県大会出場を決めました。

結果も大切ですが、私達は、「柔道」というスポーツを通して勝つことだけでなく、礼儀・作法を重んじ、試合で勝っても負けても、他人を尊重し、共に切磋琢磨しながら生きていくことを目標としています。
「柔道」と聞くと皆さんは、「危険だ」「危ない」といったイメージで見られますが、正しい指導を受ければ、大きな怪我をせずに「自分」を磨くことができるスポーツです。

水泳部

顧問 岩澤 順一

水泳部は、12名(3年生1名、2年生6名、1年生5名)で活動しています。2年続けて多くの部員の入部があり、再び活気が出てきました。3年生の高橋竜佑選手は、1年生の時から2年連続で、バタフライで東北大会に出場し、最後の年になる今年も活躍を期待していました。コロナ禍の影響で大会が中止になり、本人とてもお気を落としている状況です。しかし、何とか9月下旬に県高校体育



大会の代替大会と県新人大会が開催されました。3年最後の大会において、100mバタフライで見事に高橋竜佑君が優勝しました。また、新人大会においては、400mフリーリレーでは、齋藤洋太君は200mと400mで優勝、目黒大翔君は100mバタフライで4位と取り、東北大会への切符を勝ち取ってきました。特に、リレーでの東北出場はチーム全員の努力の積み重ねの結果であり、チーム内の喜びもひとしおです。この調子で来年のインターハイを目指し頑張りたいと思っております。
水泳競技は、個人種目でありタイムを争う競技です。部員数の過多に関わらず、タイムを目標として活動する種目です。各自1秒でもタイムを縮め上位大会に出場できるように頑張ってくださいとおもいます。水泳は、ダイエットなど健康維持に最適

なスポーツでもあり長い人生を通して継続できるものなので始めてみるのがいいかでしょうか。

スキー部

顧問 茂木利幸
飯塚 誠
五十嵐 拓也

会津工業高校スキー部はアルペン競技とクロスカントリー競技の2種目で活動しています。昨年度はアルペン、クロカン共に県高校大会で全ての種目で優勝することが出来ました。その上の大会である全国高校スキー大会をはじめ国民体育大会スキー競技会、全国高校選抜スキー大会等に県の代表として全員参加し活躍しました。

令和2年度のシーズンはこれからですが、スキーシーズンに向け様々な練習(ランニング、ロード自転車、ローラースキー、登山、サーキットトレーニング、水泳、カヌー、ローラーブレイド、ウエイトトレーニング、ローラー台自転車など)に取り組んでいます。今年度も基礎体力づくりは充実していたので、これからの雪上合宿でのトレーニングしてきた体力をスキーの滑走に調整し、県高校大会・県総体で全校への切符を手に入れて今年度は全国レベルの大会で上位入賞を目標にこれから努力して行きたいと思っています。

最後にここまで読んで頂いた方々に弓道部で学べる大事なことを紹介します。これは弓道に限らず、どの場面においても必ず役に立つと断言できます。しかし、ただ伝えても面白くないので暗号にして残します。ヒントは「後の「下」に「ずらす」です。暇なときに是非、挑戦してください。

空手部

顧問 佐藤 聖
安部 有香子

今年度の空手部は3年生4名です。1・2年生は入部せず、いつも通りのメンバーで外部コーチの藤田さんのご指導の下、練習に励みました。初めは全員、藤田さんの練習についていくのがやっとでしたが、日々の練習をしていくと自然に体力がつくようになり、部員の技術も向上していきましました。さらに今年から「組手」だけでなく「形」にも挑戦しました。形を行うことで空手の「突き」や「蹴り」な

一部の活躍にご期待下さい。(写真は夏合宿で檜枝岐村尾瀬沼、燧力岳の登山トレーニングの風景です。)



陸上競技部

顧問 石崎 晃
永峰 宏彦
大石 百合恵
高畑 利夫

今年度新しい入試制度が始まり、特色入試で陸上競技部を希望した生徒を含め、元気のよい男子11名が入部した。また、本校陸上競技部で活躍した永峰先生を顧問に迎え、在校生を含め40名で、新しいシーズンが始まった。

全国大会を目指し、冬季練習を充実させていたが、新型コロナウイルス感染のため、高校大会、総体が中止となり、代替大会として選手権として、3年生が参加できる大会が実施された。地区大会では、3年生の活躍が目立ち、100M(渡邊悠)・



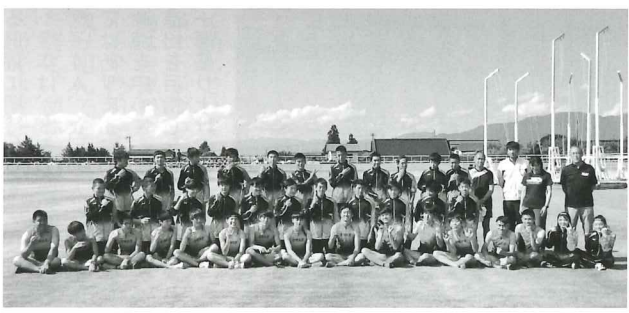
どの基本的な技術が上がると教わり、練習に励みました。大会ではいい結果を残すことはできませんでしたが、1人1人動きは前大会と比べると格段に変化していました。春の大会も頑張ろうと決意したので、新型コロナウイルスの影響で大会は中止となり、3年生は「引退」となりました。

空手部は少人数での活動でしたが、そこまで苦勞はなかったです。部員たちに支えられ、毎日楽しく活動することができました。この仲間たちでなかったら、自分の気持ちはとうに折れていたと思います。支えてくれてありがとうございます。初めは1人で大変だと思いましたが、いずれ部員も増えていくと思いますので、高い目標をもって頑張ってください。良い結果を期待しています。

棒高跳(増井真斗)・砲丸投(笠間隆之介)など3年生の活躍をはじめ、400MRと1600MRで優勝するなど活躍した。8月中旬の一般選手を含めた県選手権大会でも、爽やかに自己記録に挑戦し、3年生の大会は終了した。(上位大会は中止)

8月末に行われた新人戦は予定通り実施され、男子フィールドの活躍が目覚ましく、男子総合優勝を果たした。県大会では走幅跳(高橋琉功)と八種競技(福来海)で1年生が準優勝、円盤投(平野力)が3位入賞し、岩手県北上市で行われる東北高校新人大会に進出した。

来年度は、ウイズコロナの大会となりそうだが、あらゆる困



ボクシング部

顧問 長谷沼 徹
遠藤 智 秀

今年度のボクシング部は3年生7名(内女子選手1名、男子マネージャー1名、女子マネージャー1名)、2年生4名(内女子マネージャー1名)、1年生10名(内女子マネージャー2名)が活動しています。

練習は、長谷沼徹先生、遠藤智秀先生と会津第二高校の篠原先生のご指導のもと、北3棟3階の練習場で、日々の練習は放課後、基礎的なトレーニングと実践的なトレーニングを日替わりで2時間程度、休日はより実践的なトレーニングを3時間程度行っています。県内や県外での合宿なども盛んでも環境に恵まれています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で例年通りの活動はできませんでしたが、大会や合宿も中止で部員の全員が悔しい思いをしたと思います。練習の成果をぶつける機会もなければ練習をする機会も減ってしまいました。そんな中、明日へのエールプロジェクトで世界チャンピオンの村田諒太選手とのオンライン授業に参加して、全国と同じ思いをしている選手たちと話しをしたり、実績のある人達からの励ましの言葉をいただいたり様々な機会を設けて頂きました。また、福島民友新聞社の企画・制作の「君たちのこれまで

難にも負けずに頑張りたいと思いますので、同窓会の皆様のご支援のほどよろしくお願ひします。

卓球部

顧問 児島 二郎
小泉 龍



卓球部は顧問の児島先生、小泉先生のご指導の下、日々活動しています。現在は引退してしまいましたが3年生の先輩方10名、2年生4名、1年生13名の計27名が所属しています。

現在の練習メニューは基礎練習から始まり、次に多球練習でとにかく足を動かしてフットワークを鍛え、自分の苦手な技術を重点的に練習しています。そして、実際の試合を想定した3球目攻撃の練習や、部員それぞれ課題に応じた練習を行って

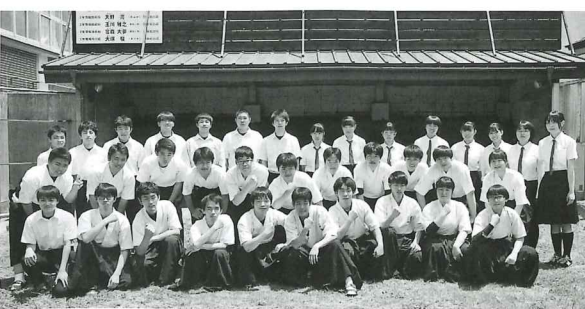
います。また、筋力トレーニングやランニングも行っており、技術だけでなく体の強化にも取り組んでいます。卒業生の方々にも技術面・メンタル面のアドバイスをいただき、更なる技術の向上を目指しています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響でインターハイが中止となってしまいましたが、インターハイ地区大会での三冠も夢ではなかったと思います。10月の新人戦では1人1人の持つ力を全力で出し、悔いの残らないように試合をしたいと思っています。日々お世話になっている顧問の先生、卓球関係者の方々に感謝しながら、これからも活動していきたいと思っています。

弓道部

顧問 荒木田 優哉
武山 小百合
高橋 芙美

我々弓道部は、昭和8年(1933年)に創部し、現在まで多くの結果を残してきた強豪校です。しかし、今年度は新型コロナウイルスとの関係で主要大会が全て中止になり、結果を残すことができません。3年生は引退してしまいましたが、1年生の頃から上位大会で結果を残すことを目標に日々の練習に骨身を削るほど打ち込みました。引退当時は悔やむもいたが、今となっては良い思い出となり3年生の中で語り継いでいます。



とこれからへ、福島県高校生ミライエール 未来へはばけ、高校生!」に県内8校の中に選ばれ、8月21日付の新聞で紹介されました。コロナ禍での県内の高校生の共通の思いを確認することができました。

そして、8月に茨城県の選手と交流戦を行いました。そのおかげで区切りがよく引退することができました。そのような機会を設けてくださった先生方にはとても感謝しています。この部活動を通して学んだことを活かしてこれからも頑張っていきたいと思っています。後輩たちも向上心を胸にこれから頑張りますので今後ともよろしくお願ひいたします。

美術部では、佐藤 和久

今年の部員数は男子27名、女子11名の計38名です。会津工業の高校弓道部は我武者羅に部活動に励む人たちが集まる所です。4月の部活動見学ではとても穏やかな雰囲気で行っており胸を躍らせながら入部した人がほとんどです。しかし、我々は騙されました。入部前はハワイの海辺だった所が、入部後は軍事訓練場に変わっていました。ともに入部した人の中にはこの現象を受け止めることができず、弓道部を後にするものもいました。また、部活動終わりに先輩方の愛のこもったご指導を毎日受けました。そんなこんなで日々部活動に励んでいると弓を引く楽しさを知ることができました。それを始めとし、大会や

今年度はコロナ感染拡大のため吹奏楽コンクールが中止となり、音楽学習発表会など活動の成果を披露する場面がごとくなくなくなりました。感染リスクの高い部活動として時間の制限や物理的制約が多い活動を強いられたが、そのような中でも生徒達は明るさと活気を失わず直向きに活動しています。

特に今年の定期演奏会は第40回という節目であり、伝統を継承しつつも社会情勢に臨機応変に対処しながら準備を進めています。感染防止の観点から部員の家族限定の演奏会となりましたが、限られた時間でも何ができるか、厳しい条件の中でも知恵を出し合いステージ創りに臨んでいます。

吹奏楽部

顧問 栗城 和枝
大木 孝之
山内 卓也

現在、吹奏楽部は24名で活動

演劇部

顧問 井関 有紀子
皆川 海都



演劇部は現在、2年生6名、1年生8名の計14名で活動しています。今年は1年生もたくさん入部し、皆で協力して日々の練習に励んでいます。9月には「秋のコンクール」があり、この大会が唯一の上位大会へ進める大会なので、まずは県大会出場を目指して頑張っています。

普段の練習は、発声、滑舌、柔軟運動、ランニングなどの基礎力強化練習をしています。大会が近づいてくると、上演する劇の脚本作成、台本読み込み、役作りをし、舞台設定や演出を考えて劇を仕上げていきます。多くの観客に楽しんでもらえるように、部員同士がお互いに意見を出し合います。時には意見がぶつかり合うこともありますが

写真部

顧問 片寄 悦広
田山 拓

が、それによって劇が最高のものに近づいていくと思っています。部員全員が一体となつて一つの劇を上演するので、上演後は言葉にできない高揚感、達成感味わうことができます。今後は、時には厳しく、時には優しく、緩急のある部活動にしていきたいです。そして、全員で演劇を楽しみ、最後には「頑張ったよかった」と思えるような部活動にすることが目標です。一人ひとりが同じ目標に向かって努力し、力を合わせていくことで、他のどの部にも負けない最高の部を作っていきたいです。

現在の活動は、4年前に特別予算で購入した高出力の無線機を活用し、日々の交信活動を幅広く行い技能の向上に努めています。今年の部員は3年生5名となっており、2年生と1年生については新入部員が待たれるところです。現在は免許を取得している3年生2名のみで交信を行っています。今年度はコロナの影響で免許講習会や大会も中止となっている状況です。今後は状況回復を待って、新入部員の開拓、免許取得講習会や各種大会への参加等活動の機会を広げて行く予定です。

アマチュア無線部

顧問 佐久間 智 広

現在の活動は、4年前に特別予算で購入した高出力の無線機を活用し、日々の交信活動を幅広く行い技能の向上に努めています。今年の部員は3年生5名となっており、2年生と1年生については新入部員が待たれるところです。現在は免許を取得している3年生2名のみで交信を行っています。今年度はコロナの影響で免許講習会や大会も中止となっている状況です。今後は状況回復を待って、新入部員の開拓、免許取得講習会や各種大会への参加等活動の機会を広げて行く予定です。

英会話部

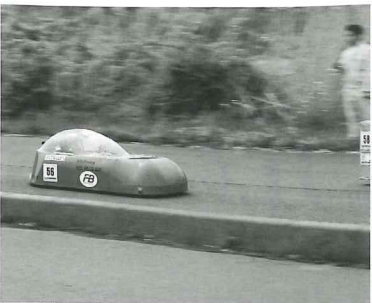
顧問 佐藤 良 美

今年度は、3年生2名しか部員がおりません。2人も建築インテリア科の勉強と両立してなんとかやっております。1学期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の休業のためあまり活動できませんでしたが、しばらくは時間も内容もずいぶん制限されることになりましたが、ソーシャルディスタンスに気を付けて

今年度は、3年生2名しか部員がおりません。2人も建築インテリア科の勉強と両立してなんとかやっております。1学期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の休業のためあまり活動できませんでしたが、しばらくは時間も内容もずいぶん制限されることになりましたが、ソーシャルディスタンスに気を付けて

機械研修部

顧問 高橋 浩二
大竹 良 宣



今年度の大会に向けて昨年度の大会終了時からコソコソと車両の制作・改良をしてきたところです。ワールド・エコノ・ムーブ大潟大会のエントリーを2月中旬に行い、宿や車両運搬のレンタルトラック手配等を済ませたところ、新型コソコソは、学校では拡大感染防止で生徒が自宅学習となり車両の最終調整もままならない時期を過ごし、大会本部から中止か延期の判断を待つことになり6月中旬に9月に延期を連絡がありました。部員のほとんどが3年生です。今後の就職活動と生徒の健康を考えた大会を辞退いたしました。ホンダ・エコ・マイレッジチャレンジも共に大会中止となり部員全員が落胆しているところですが、今年度新入部員1年生4

今年度の大会に向けて昨年度の大会終了時からコソコソと車両の制作・改良をしてきたところです。ワールド・エコノ・ムーブ大潟大会のエントリーを2月中旬に行い、宿や車両運搬のレンタルトラック手配等を済ませたところ、新型コソコソは、学校では拡大感染防止で生徒が自宅学習となり車両の最終調整もままならない時期を過ごし、大会本部から中止か延期の判断を待つことになり6月中旬に9月に延期を連絡がありました。部員のほとんどが3年生です。今後の就職活動と生徒の健康を考えた大会を辞退いたしました。ホンダ・エコ・マイレッジチャレンジも共に大会中止となり部員全員が落胆しているところですが、今年度新入部員1年生4

写真部

顧問 真田 郁夫

1-T研究部は情報技術科の生徒で構成されている部活動で、大会班・資格班の2つの班に分かれて活動しています。令和元年度は、福島県と会津大学が主催するパソコン甲子園プログラミング部門（全国大会）に4チーム（8名）が参加し、1チームが本選に出場しました。結果はグランプリには届かなかったものの審査員特別賞をいただくことができました。また、日本工業大学が主催するマイクロボコン高校生大会では、学長賞、デザイン賞、そしてネームカード部門第五位と多くの賞をいただくことができました。資格班は、1-Tパスポート試験をはじめ、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験などの情報技術者試験に取り組みしたり、工事担当者試験DD3種や、危険物取扱者試験、そして品質管理検定（QC検定）などに取り組んだ生徒もいました。

今年度は大会や資格試験も開催が縮小される中で、全員で参加できる校内で競い合うコンテストをいくつかが企画し準備中です。来年度の会報ではその様子も報告したいと思います。1-T研究部の生徒は個性豊かな生徒が多く所属し、一人一人が努力し行動するとともに、みんなで教え合うなど協力し合い

英会話部

顧問 佐藤 良 美

今年度は、3年生2名しか部員がおりません。2人も建築インテリア科の勉強と両立してなんとかやっております。1学期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の休業のためあまり活動できませんでしたが、しばらくは時間も内容もずいぶん制限されることになりましたが、ソーシャルディスタンスに気を付けて

今年度は、3年生2名しか部員がおりません。2人も建築インテリア科の勉強と両立してなんとかやっております。1学期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の休業のためあまり活動できませんでしたが、しばらくは時間も内容もずいぶん制限されることになりましたが、ソーシャルディスタンスに気を付けて

1-T研究部

顧問 真田 郁夫

1-T研究部は情報技術科の生徒で構成されている部活動で、大会班・資格班の2つの班に分かれて活動しています。令和元年度は、福島県と会津大学が主催するパソコン甲子園プログラミング部門（全国大会）に4チーム（8名）が参加し、1チームが本選に出場しました。結果はグランプリには届かなかったものの審査員特別賞をいただくことができました。また、日本工業大学が主催するマイクロボコン高校生大会では、学長賞、デザイン賞、そしてネームカード部門第五位と多くの賞をいただくことができました。資格班は、1-Tパスポート試験をはじめ、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験などの情報技術者試験に取り組みしたり、工事担当者試験DD3種や、危険物取扱者試験、そして品質管理検定（QC検定）などに取り組んだ生徒もいました。

今年度の電気部は3年生11名、2年生10名、1年生9名の部員で構成され、指導は顧問をはじめ電気科の職員が担当しています。年間を通じた活動として、新入生に対する部活動紹介（4月）、第2種電気工事士筆記試験（6月）、第2種電気工事士技能試験（中学生体験入学における電気科の紹介（7月）、第1種電気工事士筆記試験・ものづくりコンテスト県大会（10月）、第1種電気工事士技能試験（12月）などです。とりわけ電気部では「各種資格取得」と「ものづくりコンテスト」に力を入れています。また、実習や課題研究で活用される機材なども自分達で製作しています。

今年度の電気部は3年生11名、2年生10名、1年生9名の部員で構成され、指導は顧問をはじめ電気科の職員が担当しています。年間を通じた活動として、新入生に対する部活動紹介（4月）、第2種電気工事士筆記試験（6月）、第2種電気工事士技能試験（中学生体験入学における電気科の紹介（7月）、第1種電気工事士筆記試験・ものづくりコンテスト県大会（10月）、第1種電気工事士技能試験（12月）などです。とりわけ電気部では「各種資格取得」と「ものづくりコンテスト」に力を入れています。また、実習や課題研究で活用される機材なども自分達で製作しています。



今年度の電気部は3年生11名、2年生10名、1年生9名の部員で構成され、指導は顧問をはじめ電気科の職員が担当しています。年間を通じた活動として、新入生に対する部活動紹介（4月）、第2種電気工事士筆記試験（6月）、第2種電気工事士技能試験（中学生体験入学における電気科の紹介（7月）、第1種電気工事士筆記試験・ものづくりコンテスト県大会（10月）、第1種電気工事士技能試験（12月）などです。とりわけ電気部では「各種資格取得」と「ものづくりコンテスト」に力を入れています。また、実習や課題研究で活用される機材なども自分達で製作しています。

セラミック化学部

顧問 大濱 達明
石井 洋子

しかしそんな関係性にあつて欲を言えば、足りないのは厳しさです。今は、ひと昔ふた昔前では当たり前だった厳しい先輩が9、優しい先輩が1の対比が逆転して、厳しい先輩の存在は皆無に近い状態で、その影響が作品を造り上げるピッチにも関係してきています。昔から「能率が上がるのは、相手と少し仲が悪かったり、少しケンカしているくらいの時」と言われる通り、良くも悪くも仲が良過ぎるのは本物のライバルが湧いて来ない要素のひとつだと思います。先輩生徒にはいい意味での、この平成の時代にマッチングした厳しくもカッコいい先輩になってくれるの期待しながらアドバイスをしています。

部活動の他に講習会も実施しています。建築インテリア部のメンバーと建築大工に興味のある一般生徒20名は、高度熟練指導者の外部講師の方から10日間の指導を受けている中でもあります。目指すは建築インテリア部のモットーでもある、他のどんな場面でも通ずる、自己満足ではない、物が相手でも人が相手でも、正しく速く美しく仕上げ対応する「正速美」の気持ちと工夫を、自分が思った時にいつでも自由に発揮出来るという自信が持てれば最高です。そんな人間性になってくれる様、活動させております。今後ともよろしくお願致します。

部活動の他に講習会も実施しています。建築インテリア部のメンバーと建築大工に興味のある一般生徒20名は、高度熟練指導者の外部講師の方から10日間の指導を受けている中でもあります。目指すは建築インテリア部のモットーでもある、他のどんな場面でも通ずる、自己満足ではない、物が相手でも人が相手でも、正しく速く美しく仕上げ対応する「正速美」の気持ちと工夫を、自分が思った時にいつでも自由に発揮出来るという自信が持てれば最高です。そんな人間性になってくれる様、活動させております。今後ともよろしくお願致します。



目指すは建築インテリア部のモットーでもある、他のどんな場面でも通ずる、自己満足ではない、物が相手でも人が相手でも、正しく速く美しく仕上げ対応する「正速美」の気持ちと工夫を、自分が思った時にいつでも自由に発揮出来るという自信が持てれば最高です。そんな人間性になってくれる様、活動させております。今後ともよろしくお願致します。

生活科学同好会

顧問 齋藤 桂子



清寂への教えを忘れず実践していきたいと思っています。

今年度は男子20名、女子10名、計30名のメンバーで活動しています。新年度初めは新型コロナウイルス感染症の心配があり活動ができずじまいましたが、現在はマスク着用や消毒の徹底、調理台を使用する人数を少なくするなど対策をしながら活動しています。

学年問わず仲良く、いつも穏やかな雰囲気でお菓子や料理作りを取り組んでいます。今は、お菓子や料理を自分達で作って自分達で味わうことを中心とした活動ですが、今後は料理コンテストにチャレンジしたり、食の大切さを校外で発信できるように活動もしていきたいと思っています。

なごみ成年後見事務所

司法書士 栗城和夫(昭41M)

〒965-0037 会津若松市中央一丁目4番31号
TEL 0242 (25) 3774
FAX 0242 (25) 1240

一級建築士事務所 構造設計 耐震診断 耐震補強設計 構造監理 カズ 有限会社 和 構造設計事務所

代表取締役 菊地和彦
(構造設計一級建築士)

〒965-0011 会津若松市鶴賀町2番10号
TEL(0242)32-3939 FAX(0242)22-3585
E-mail:kazukozo@sky.plala.or.jp

株式会社 白井設計

代表取締役 白井武男

〒965-0872 福島県会津若松市東栄町2番8号
TEL 0242 (23) 8840
FAX 0242 (23) 8640
E-mail : hakubu@cocoa.ocn.ne.jp

一級建築士事務所 有限会社 北斗設計

代表取締役 佐藤満
一級建築士

(本 社) 〒969-6267 福島県大沼郡会津美里町字西裏1764
TEL. 0242(54)7305 FAX. 0242(54)7306
E-mail : hokuto-m@agate.plala.or.jp
(若松支社) 〒965-0003 福島県会津若松市一箕町大字八幡字墓料36-17
TEL・FAX. 0242(88)9119

ご協力ありがとうございました

猪俣建設工業株式会社

代表取締役 猪俣勝

〒969-6126
福島県大沼郡会津美里町字本郷甲3027番地
TEL 0242-56-2038
FAX 0242-56-3535

有限会社 アイシン開発

代表取締役 佐藤義之

〒965-0081 会津若松市神指町西城戸62番地
TEL 0242-25-2335
FAX 0242-25-2334

TOTAL SIGN & DESIGN 各種看板・屋内外サイン 有限会社 東海堂アール工藝

〒965-0830 会津若松市西年貢二丁目 2-14
TEL: (0242) 27-8610 FAX: (0242) 26-7790

MEGIURO 株式会社 目黒工業商会

私たちは『ひと』を大切にします。



〒965-0816
福島県会津若松市南千石町1番54号
TEL (0242) 27-3344 (代)
FAX (0242) 28-6655
E-mail : kmeguro@if-n.ne.jp

総合建設業 永島建設株式会社

代表取締役 永島隆治

〒969-6183 福島県会津若松市北会津町上米塚1235-2
Phone 0242-56-3230 FAX 0242-56-2662
E-mail : t-nagakk@atlas.plala.or.jp

東会技術研究所

代表 齋藤康夫

〒969-6213 会津美里町勝原字竹原320
TEL 0242-54-5154
FAX 0242-54-5688
携 帯 080-6003-5544

割烹 萬花楼

ご予約・お問い合わせ

tel.0242-27-4567 fax.0242-29-0415

http://mangerou.com

〒965-0872 福島県会津若松市東栄町10-6

創業明治三十五年
伝統的産業工芸品指定 会津本郷焼窯元

株式会社 漆紋焼

〒969-6041
福島県大沼郡会津美里町字川原町1933
TEL (0242) 56-2221 (代)
FAX (0242) 56-2223
E-mail : yumita@ryuumon.co.jp
http://www.ryuumon.co.jp

株式会社 荒井工務店

荒井誠一

〒969-6107 福島県大沼郡会津美里町字新用地197番地
TEL(0242)56-2587 FAX(0242)56-3587
E-mail:qq3s6c69@proof.ocn.ne.jp

運輸省認定一種整備工場 仙台陸運局指定民間車検場 有限会社 アート商会

〒965-0064
会津若松市神指町大字黒川字湯川東174番地
TEL 会津若松 (0242) 22-3880 ~ 3881
FAX 会津若松 (0242) 22-3882

株式会社 山口設計

(一社)福島県建築士事務所協会員
福島県建築設計協同組合員
(一社)日本CLT協会会員
天井診断士会員

代表取締役会長 一級建築士・住宅性能評価員

山口一男
CMAJ正会員

[猪苗代本店] 〒969-3121 福島県耶麻郡猪苗代町字津金沢54番地
TEL(0242)62-4310(代) FAX(0242)62-4381
[若松本社] 〒965-0013 福島県会津若松市堤町11番9号
TEL(0242)23-7781(代) FAX(0242)23-7791
http://www.yamarchi.com
E-mail : archi@yamaguchi.email.ne.jp
事務所 : 喜多方事務所・中央事務所・東北事務所

宴会・会合・無尽

割烹 萬里

ユネスコ 和食
無形文化遺産

〒965-0825 会津若松市栄町 4-37 (清水通り)
●営業時間 17:00 ~ 23:00 (不定休)
●定休日 日曜日
TEL (0242) 22-8502 FAX(0242) 27-5790

代表取締役 新井正人

一級建築士/構造設計一級建築士/構造計算適合判定資格者

一級建築士事務所

有限会社 アルファ建築設計

〒965-0804 福島県会津若松市花春町7番67号
TEL(0242)26-5225
FAX(0242)26-5295
E-mail : alpha.arai@nifty.com

有限会社 五十嵐総合事務所

土地家屋調査士・行政書士事務所
建築設計 黎明住宅相談室
宅建取引業 住地サービス

代表取締役 五十嵐一夫(昭43A)

【土地家屋調査士・宅建物取引主任者】
一級建築士・インテリアプランナー・行政書士

事務所 福島県河沼郡会津坂下町字沢ノ目1713番地5
(厚生病院バス停)
TEL (0242) 83-0107

会工同窓会本部役員

役職名	氏名	卒年	備考
顧問	若狭春生	S38K	本部選出 松江春秋顕彰会会長
会長	藤田晴史	S40E	本部選出
筆頭副会長	浅田 誠	S43E	本部選出 若松会工学生会長 参与
副会長	田中健一	S42E	東京会工会幹事長会長 参与
副会長	鹿目忠明	S40E	会工電友会会長 参与
幹事長	木村洋一	S50K	本部選出
副幹事長	佐藤義之	S42M	本部選出
副幹事長	荒川富士雄	S43M	本部選出 会報編集委員長
副幹事長	菊地壽雄	S48D	本部選出
副幹事長	荒井誠一	S49A	本部選出 会津美里会工会幹事長
副幹事長	渡部 哲	S52M	本部選出
幹事	江花光泰	S31L	本部選出 会報編集委員
幹事	渡部昭寿	S34E	本部選出 会報編集委員
幹事	安藤昭男	S35T	本部選出
幹事	近藤信行	S40E	本部選出
幹事	長谷川利彦	S41K	本部選出
幹事	石田 功	S43G	本部選出
幹事	武田芳仁	S47M	本部選出
幹事	野中寿勝	S50E	本部選出
幹事	長尾好章	S50T	本部選出
幹事	菅原正晴	S51A	本部選出
幹事	田勢光夫	S51A	本部選出 会報編集委員
幹事	岩淵浩之	S54L	本部選出
幹事	森田哲郎	S55M	本部選出
幹事	渡部優生	S55M	本部選出
幹事	佐藤 満	S56A	本部選出
幹事	村澤智	S62E	本部選出
幹事	渡部恵千子	H06D	本部選出
幹事	戸野部武彦	S40M	東京会工会幹事長
幹事	五十嵐 強	S48M	東海会工会幹事長
幹事	本名雄一	H13E	近畿会工会事務局長
幹事	佐藤 亨	S38C	郡山会工会幹事長
幹事	梅宮 昭	S39A	いわき会工会幹事長
幹事	星 秀明	S40E	福島会工会幹事長
幹事	武藤 寛	S45C	坂下会工会幹事長
幹事	長谷川与一	S40E	猪苗代会工会副会長
幹事	佐野常雄	S31E	湯川会工会幹事長・監事
幹事	白井達夫	S43E	電友会事務局長
幹事	菊地登貴雄	S52M	機友会幹事長
幹事	梨子本 傑	S41K	セラ友会幹事長・坂下会工学生会長
幹事	五十嵐誓夫	S26M	日立会工学生会長
幹事	高橋 誠	S56M	三菱鋼(株)機友会会長
幹事	大塚裕一郎	H3C	昭和電工(株)会工学生会長

役職名	氏名	卒年	備考
幹事	高橋伸幸	S51M	日曹金属化学(株)会工学生会長
幹事	珊瑚優治	S59C	三菱製鋼(株)会工学生会長
幹事	徳永正浩	S55E	東京電力パワーグリッド猪苗代電力所会工学生会長
監事	佐野常雄	S31E	前会工電友会会長・湯川会工会幹事長
監事	小山源昭	S38A	前建友会会長
監事	栗城和夫	S41M	参与・機友会会長
参与	高梨哲夫	S55M	会津工業高等学校校長
参与	田中健一	S42E	副会長・東京会工学生会長
参与	三井正春	S41A	東海会工学生会長
参与	石川善一	S39E	近畿会工学生会長
参与	浅田 誠	S43E	筆頭副会長 若松会工学生会長
参与	福地 勝	S30M	郡山会工学生会長
参与	二瓶嘉人	S39E	福島会工学生会長
参与	星 武	S27E	前福島会工学生会長
参与	佐野容昭	S32E	いわき会工学生会長
参与	梨子本 傑	S41K	坂下会工学生会長
参与	五十嵐一夫	S43A	前坂下会工学生会長
参与	江花俊和	S37T	猪苗代会工学生会長
参与	山口一男	S37A	前猪苗代会工学生会長
参与	栗木俊昭	S45D	会津美里会工学生会長
参与	白井武男	S45A	建友会会長
参与	栗城和夫	S41M	機友会会長・監事
参与	二瓶正人	S37K	セラ友会会長
参与	渡部洋子	S32K	前セラ友会会長
参与	曾根賢治	S36L	前会工美修会会長
参与	坂内茂男	S32K	前監事
参与	関場一宏	S33K	前監事
事務局長	中丸 淳	S55K	事務全般
事務局	大濱達明	S55K	会報編集委員
事務局	菅家慶広	S56A	事務全般
事務局	馬場正文	H2M	会報編集委員
事務局	星 義一	H12A	鶴翔会館管理運営
事務局	渡辺 学	H13A	本部会計
事務局	遠藤智秀	H22J	会報編集委員
事務局	真田郁夫	S57E	会報編集委員
事務局	永峯宏彦	H11M	寄贈マイクロバス管理運営
事務局	矢部晃太郎	H28A	本部会計
事務局	皆川海都	H28I	会報編集委員
(事務局)	菊地壽雄	S48D	
(事務局)	山野 敏	S49G	

*副会長については各地区会工会を代表し東京会工学生会長が、修養会からは建友会→会工電友会→機友会→セラ友会の順で2年毎に就任。



次回第114回総会は
2021年10月16日(土)に開催しますので、
是非ご参加ください！



同窓会会報編集委員

荒川 富士雄

編集後記

コロナウイルスのせいでオリンピックを始め、あらゆる会合、イベントが休止や延期、又は、極限の縮小開催に見舞われた今年です。同窓会も、本会始め各修養会が軒並み書面での処理となつています。

会報発行も一時どうなるかと思いましたが皆様のご協力で無事発行できました事に心より感謝申し上げます。

又、会工創立120周年の記念事業に向かって動きが始まろうとしています。その節は皆様のさらなるご支援ご協力をお願いいたします。